平成24年第5回邑南町議会定例会(第1日)会議録

1. 招集月日 平成24年 8月22日 告示
2. 招集の場所 邑南町役場 議場
3. 開 会 平成24年 9月4日(火) 午前 9時30分
散会 午後 2時6分

4. 応招議員

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1番	大屋光宏	2番	宮田秀行	3番	中村昌史	5番	日野原利郎
6番	清水優文	7番	辰田直久	8番	亀山和巳	9番	日高 學
10番	石橋純二	11番	高本勝藏	12番	山中康樹	13番	三上 徹
14番	長谷川敏郎	15番	日高勝明	16番	松本 正		

5. 不応招議員 なし

6. 出席議員 14名

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1番	大屋光宏	2番	宮田秀行	3番	中村昌史	5番	日野原利郎
6番	清水優文	7番	辰田直久	8番	亀山和巳	9番	日高 學
10番	石橋純二	11番	高本勝藏	12番	山中康樹	13番	三上 徹
14番	長谷川敏郎	15番	日高勝明				

7. 欠席議員 1名

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
16番	松本 正						

8. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	石橋良治	副町長	桑野 修	総務課長	藤間 修
危機管理課長	細貝芳弘	定住促進課長	原 修	企画財政課長	沖 幹雄
情報推進課長	小林雅博	町民課長	服部 導士	税務課長	三上俊二
福祉課長	飛弾智徳	農林振興課長	坂本敬三	商工観光課長	日高 始
建設課長	森上 寿	水道課長	上田英至	保健課長	日高 誠
会計管理者	安原賢二	瑞穂支所長	藤田憲司	羽須美支所長	福田誠治
教育委員長	河野義則	教育長	土居達也	学校教育課長	田中節也
生涯学習課長	森岡弘典	農業委員会長	田中正規	監査委員	實田 讓

9. 本会議に職務のため出席した者の氏名

議会事務局長 屋原 進 事務局係長 日高 泉

10. 町長提出議案の題目 別紙のとおり

11. 会議録署名議員の氏名

議席	氏 名	議席	氏 名
11番	高本勝藏	12番	山中康樹

12. 本日の会議の大要は別紙のとおりである。

平成24年第5回邑南町議会定例会議事日程(第1日)

平成24年9月4日(火) 午前9時30分開議

開会、開議宣告

議事日程の報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 中間行政報告

日程第4 報告事項

報告第6号 邑南町開発公社の経営状況の報告について

報告第7号 邑南町土地開発公社の経営状況の報告について

報告第8号 平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

報告第9号 平成23年度邑南町教育委員会の権限に属する事務の点検・評価報告について

報告第10号 例月現金出納検査結果報告について

日程第5 議案の上程、説明、質疑、討論、採決

議案第70号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第6 議案の上程、説明

議案第71号 専決処分の承認を求めることについて

議案第72号 平成23年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第73号 平成23年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第74号 平成23年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第75号 平成23年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第76号 平成23年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第77号 平成23年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第78号 平成23年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第79号 邑南町防災会議条例の一部改正について

議案第80号 邑南町災害対策本部条例の一部改正について

議案第81号 邑南町下水道条例の一部改正について

議案第82号 邑南町情報通信施設条例の一部改正について

議案第83号 邑南町健康センター基金条例の制定について

議案第84号 邑南町日本一の子育て村推進本部設置条例の制定について

議案第85号 財産の取得について

議案第86号 邑南町辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について

議案第87号 平成24年度邑南町一般会計補正予算第3号について

議案第88号 平成24年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号について

議案第89号 平成24年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号について

- 議案第 90 号 平成24年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号について
- 議案第 91 号 平成24年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号について
- 議案第 92 号 平成24年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号について
- 議案第 93 号 平成24年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号について

日程第7 請願文書表

- 請願第 2 号 消費税増税に反対する意見書提出を求める請願
- 請願第 3 号 オスプレイの配備・低空飛行訓練中止を求める請願

平成24年第5回邑南町議会定例会(第1日)会議録

平成24年 9 月 4 日 (火)

—— 午前 9 時30分 開会 ——

~~~~~○~~~~~

開会宣告

- 屋原事務局長(屋原進) おはようございます。本日、議長が病気療養のため欠席されております。これにつきましては、地方自治法第106条第1項の規定により、副議長が議長の職務を行うこととなっております。石橋、石橋副議長には、議長席にお着きいただきますようお願いいたします。
(石橋副議長「議長席に着席」)

- 副議長(石橋純二) おはようございます。議長が欠席されておりますので、私が議長の職務を務めさせていただきます。それでは定足数に達しておりますので、ただ今から平成24年第5回邑南町議会定例会を開会いたします。議長の諸般の報告につきましては、お手元に配付しておりますとおりですので、ご覧いただきたいと思っております。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりです。

~~~~~○~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

- 副議長(石橋純二) 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。11番高本議員、12番山中議員、お願いをいたします。

~~~~~○~~~~~

日程第2 会期の決定

- 副議長(石橋純二) 日程第2、会期を、会期の決定を議題といたします。お諮りをいたします。本定例会の会期は、本日9月4日から9月14日までの11日間といたしたいと思っております。これにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 副議長(石橋純二) 異議なしと認めます。したがって、会期は本日9月4日から9月14日までの11日間とすることに決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第3 中間行政報告

- 副議長(石橋純二) 日程第3、町長中間行政報告。これより町長に中間行政報告及び諸般の報告を行っていただきます。

●石橋町長(石橋良治) 議長、番外。

●副議長(石橋純二) はい、石橋町長。

●石橋町長(石橋良治) 平成24年第5回邑南町議会定例会の開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、決算状況、財政状況及び現在進めています諸施策等についてご報告申しあげ、町議会並びに町民各位のご理解とご協、ご協力を賜りたいと存じます。初めに、平成23年度における各会計の決算につきましては、本定例会にご承認をお願いするよう提案していますが、その概要につきましては、ご説明いたします。まず、一般会計につきましては、歳入総額129億2千750万7千632円に対しまして歳出総額127億6千219万2千853円で、差し引き1億6千531万4千779円の黒字でございましたが、繰越明許によります翌年度へ繰り越すべき財源は、2千341万5千円を差し引きますと、実質収支額は1億4千189万9千779円の黒字でございます。次に、特別会計についてでございますが、国民健康保険事業特別会計は、歳入総額14億8千825万9千222円に対しまして、歳出総額14億8千795万7千782円で、差し引き30万1千240円の黒字。国民健康保険直営診療所事業特別会計は、歳入総額9千661万3千861円に対しまして、歳出総額9千476万9千36円で、差し引き184万4千825円の黒字。後期高齢者医療事業特別会計は、歳入総額3億4千561万8千116円に対しまして、歳出総額3億4千248万2千829円で、差し引き313万5千287円の黒字。簡易水道事業特別会計は、歳入総額6億5千906万672円に対しまして、歳出総額6億5千325万2千649円で、差し引き580万8千23円の黒字。下水道事業特別会計は、歳入総額10億4千572万9千606円に対しまして、歳出総額10億3千490万3千633円で、差し引き1千82万5千973円の黒字。電気通信事業特別会計は、歳入総額3億5千465万6千538円に対しまして、歳出総額3億4千919万1千806円で、差し引き546万4千732円の黒字でございます。決算に基づく普通会計の財政指数につきましては、経常収支比率は93.4%で、前年対比で6.9ポイントの上昇となっております。財政健全化法に係る判断基準のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率については赤字額がないため早期健全化基準に該当する数値はございません。実質公債費比率は15.7%、将来負担比率は154.1%となっておりますが、いずれも早期健全化基準となる数値を下回っています。簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計に係る資金不足比率については、資金不足がないため経営健全化基準に該当する数値はございません。詳細につきましては、後ほど議案を提出する際にご説明いたしますのでよろしくご説明いたします。次に、本年度の財政運営について申しあげます。本年度の普通交付税の配分が7月24日に決定されました。概要は、普通交付税は62億322万8千円、臨時財政対策債発行可能額は3億9千880万2千円で、合わせて66億203万円となり、平成23年度と比較して1.2%の増加、額にして7千838万3千円の増額となっております。この増額につきましては、公債費算入分の伸びや、基準財政収入額の減少が主な要因でございます。そして、国の経済対策関係により算入されています臨時費目の地域経済、雇用対策費の伸びも要因となっております。なお、本年度の一般会計予算の方ですが、この配分結果に基づきまして、今回の補正予算で、普通交付税を2千777万2千円減額、臨時財政対策債を9千280万円増額、繰越金を1億3千189万9千円増額する、することとしておりますのでよろしくご説明いたします。次に、過疎法の延長、合併特例債発行期限の延長について申しあげます。過疎地域自立促進特別措置法について、平成22年の法改正後、その効力は平成28年3月31日までとされておりましたが、昨年、東日本大震災の発生により、被災市町村において法の期限内に総合的かつ計画的な施策を展開することが困難な状況が生じたため、現行法を5年間延長する過疎地域

自立促進特別措置法が、本年6月27日に公布、施行されました。さらに同日付で、東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律が公布、施行され、東日本大震災の被災市町村以外の合併市町村においても合併特例債を起すことができる期間が5年間延長されました。これにより平成31年度まで合併特例債を起すことが可能となりました。なお、市町村合併特例事業は市町村建設計画に基づく事業であるとされていることから、延長された期間も事業実施しようとする場合は、その計画期間等について市町村建設計画を変更する必要があります。邑南町としても、今後、計、計画変更に向けて取り組みたいと考えています。どちらも邑南町の財政運営にとっては大変ありがたいことだと考えております。次に、エネルギー施策について申しあげます。小水力発電の立地可能性調査についてでございますが、6月から7月にかけて、職員エネルギー政策研究会員により、町内の河川や水路約30か所の調査を行いました。このうち数か所について、県の小水力発電導入調査事業により調査分析していただくため、県農林水産部農地整備課に報告いたしました。今後、町の方でもポイントを絞り調査を委託することとしています。7月1日からスタートしました邑南町住宅用太陽光発電システム設置費補助事業につきましては、公称最大出力1kWあたり1万円を助成、括弧4万円、4万円を限度とするものですが、8月末現在で11件の申請があり総額41万7千円の交付決定をしています。次に、日本一の子育て村推進本部の設置について申しあげます。子育て支援を総合的、かつ積極的に推進することを目的に、本部会議、幹事会及び部会の3つで構成する邑南町日本一の子育て村推進本部を設置することとし、今議会に設置条例案を上程しています。体制を強化し、より充実した子育て支援の推進を図りたいと考えています。次に、三江線の利用促進について申しあげます。今年度、三江線増便の社会実験が実施されます。期間は平成24年10月1日から12月31日までの3か月間で、実施主体は邑南町も加入する三江線活性化協議会とJR西日本米子支社でございます。これは現行の鉄道ダイヤに加えバスによる増便を実施するというもので、バスダイヤは利用者の要望が多かった時間帯に増便されることになっています。次に、商工及び観光振興について申しあげます。まず、昨年3月に策定した邑南町農林商工等連携ビジョンに掲げられた成果目標の達成に向け、邑南町観光協会にアクションプランの原案策定を依頼し、現在策定委員の公募が行われています。内容については邑南町農林商工等連携サポートセンターにおいて決定し、ビジョンの実現に向けて努力してまいりたいと考えています。次に、田舎ツーリズム事業について申しあげます。昨年度に引き続き島根県が実施する田舎ツーリズムを活用した福島県の子どもたちの受け入れにつきましては、7月下旬から受け入れを行っており、8月末現在で24家族、63名が島根県に滞在されました。本町には7家族22名が滞在され、本町の自然や歴史、地域の方々と触れ合いながらゆったりと過ごし、過ごしていただきました。次に、危機管理課の関係について申しあげます。最初に防災訓練についてでございますが、6月25日に今年度2回目の職員による訓練を実施いたしました。訓練の内容は、早朝、全職員による通信伝達と幹部職員の参集でございます。役場2階大会議室を災害対策本部と想定し、幹部職員による机上訓練を行いました。この訓練から得られた課題につきましては、整理して今後の体制整備に活かすこととしています。次に、全国瞬時警報システム、Jアラートについて報告いたします。国は、6月28日に町の防災行政無線を通じて、自動放送訓練を実施しました。結果は予定どおり午前10時15分に戸別受信機と屋外拡声子局により、局より緊急地震速報を想定した内容が全町に流れました。この導通試験においては、特に問題の発生はございませんでした。この訓練でございますが、今後も年に数回行われます。次回は今月12日の予定で、町民の皆さまには、事前に広報等で周知することとしています。次に、交通安全について申

しあげます。5月12日に県道吉田邑南線、旧瑞穂地域出羽地内において死亡事故が発生し、その僅か2か月余りの7月13日、再び邑南町上亀谷地内の国道261号線において軽四輪自動車と大型自動車による正面衝突が発生し、2名の高齢者が亡くなるという交通死亡事故が発生いたしました。こうした事故を受けて、交通安全パレード、街頭指導、チラシ配布などを行い、交通安全意識高揚を図るとともに、交通事故のない安全な町をめざしたいと考えています。次に、口羽保育所移転改築工事について申しあげます。輪之内遺跡の発掘調査につきましては8月中旬に調査が終了し、出土した石棺を羽須美支所敷地入口に移設する予定でございます。この間、7月末に地元集落と保育所保護者への説明会を開催しています。保育所の本体工事につきましては、瑞穂福祉会により9月13日に入札が行われる予定でございます。来年3月の竣工をめざして着工されることになっています。次に、阿須那保育所の移転改築に係る対応について申しあげます。阿須那保育所につきましては、口羽保育所に続いて、平成25年度に移転改築へ着手することをご理解を得ているところでございますが、平成25年度の財源確保は未確定でございます。このような中、平成24年度事業において島根県より追加要望の調査がございました。町といたしましては、財源確保の観点からこのたびの追加要望に申請し、平成24年度事業として着手し、平成25年度に繰越して実施したいと考えていますのでご理解いただきたいと思っております。次に、農林業振興について申しあげます。まず、水稻の需給調整につきましては、水稻配分面積千113haに対して、最終確定前の速報値として、作付面積千111haとなっており、作付率は99.8、99.85%となっています。また、飼料用稲57ha、大豆19ha、そば3.5haとなっており、土地利用型作物への切り替えも進んできています。一方、作柄につきましては、民間データ機関によりますと、全国の作柄はやや良、中国地方は平年並みと予想されています。米価につきましては、昨年に比べ15%程度の増額が見込まれており、農家にとっては明るい材料となっています。次に、第2期目を迎えた農地水保全管理支払交付金につきましては、参加面積が8ha増加し、千629haとなったところでございます。引き続き農道、水路等の長寿命化に取り組んでまいります。次に、今年度設置した邑南町鳥獣被害対策実施隊についてでございますが、実施隊員は全町で48名を任命し、内訳は民間隊員43名、公務員4名、特別隊員1名でございます。8月15日現在、ヌートリアの捕獲、捕獲や熊の警戒、監視活動等の実績がでございます。次に、建設関係の事業について申しあげます。今定例会から、邑南町発注の公共事業につきましては、別紙一覧表で発注状況をご報告させていただきたいと思っておりますのでそちらをご覧くださいませ。まず、あのう、県道改良事業でございますが、浜田作木線におきましては先般8月8日に雪田工区、伏谷トンネルの開通式を終え供用開始したところでございます。また、鳴滝工区も7月10日より一部区間の供用を開始しており、各工区予定どおり工事が進んできています。河川、砂防関係の事業でございますが、河川事業では引き続き出羽川における2か所の河川改良事業を実施していただきます。また、県単砂防事業、井原地区の桧ノ迫川については、用地調査、用地補償を引き続き進めていただいているところでございます。災害復旧工、事業でございますが、7月の集中豪雨による災害は、農地10か所、農業用施設5か所、公共土木施設2か所、林道施設7か所となっています。9月中旬から10月中旬に査定を受けて、早期復旧をめざし実施してまいります。次に、学校教育関係について申しあげます。まず、邑南町の教育のあり方について申しあげます。邑南町教育のあり方検討委員会からの答申を受けて、あり方の素案をもとに学校やPTA連合会、社会教育委員、公民館など各方面との意見交換を行ったうえで、今後の邑南町の教育が進むべき姿について議論を進めており、今議会においてまとめとして提出いたします。次に、英語指導助手の配置について申しあげます。ALTとして語学教育に貢献

していただいた、スティーブン・オリバー・ライアンさんが任期満了により母国に帰国す、帰国されたことに伴い後任として、デレン・アダム・シールさんが着任し、2学期から小学校の英語指導にあたっていただきます。次に、スクールバスの業務委託について申し上げます。7月23日に発生した羽須美田所線における車内事故につきましては、町としての運行管理上の責任を重く受けとめるとともに、おけが、おけがをされた方に深くお詫び申し上げます。この事故を受けて、受託業者から運行業務委託契約の解除の申し入れがありましたので、新たに、新たな運行委託契約に向けて、手続きを行う必要が生じました。委託先につきましては、複数年の契約期間による一般競争入札で決定しようと考えていますので、入札執行には、来年度以降の債務負担行為の議決を得なければなりません。早急に入札手続きに取り掛かる必要があるため、専決処分させていただいておりますので本定例会でご承認をお願いいたします。次に、生涯学習関係について申し上げます。社会体育関係では、町体育協会と連携して、8月4日5日にNEC女子バレーボール部を指導者に招き、町内をはじめ県内外から20チーム、約240名の参加を得てバレーボール教室を開催するとともに、Vリーグ交流試合には約200名の観戦者があり、全国トップレベルのバレーの技術やトレーニング方法などについて学ぶことができました。そのほか、平和教育の一環として、本年度で第25回目となった歩こう広島までは中学生から大人まん、大人まで約70名の参加があり、町民から託された千羽鶴を原爆の子の像に捧げるとともに、広島市長に平和メッセージを届けました。参加した皆さんには平和と戦争について身を持って考えてもらうことができたと考えています。以上、9月議会定例会の開会にあたり、本年度の、本年度の諸施策について、中間行政報告をさせていただきました。なお、本定例会に提案いたします議案は、人事案1件、補正予算の専決処分の承認を求める件が1件、決算認定案7件、条例案6件、補正予算案7件、その他案2件、合わせて24件としています。諸議案の詳細につきましては、後ほど担当課長から説明させますので、何とぞ、慎重にご審議の上、適切な議決を賜りますようお願いを申し上げます。続きまして、諸般の報告をさせていただきます。お手元に資料をNo. 1、No. 2をお配りしておりますので、それをご覧になっていただきたいと思います。まず、あのう、邑智郡総合事務組合の決算についてでございます。平成、平成24年第2回邑智郡総合事務組合議会定例会が8月7日に開催され、平成23年度の事業報告並びに決算報告が承認されましたので、その概要についてご報告申し上げます。まず、一般会計でございますが、歳入総額は11億7千708万5千円で前年度に比べ4億8千754万5千円の減額でございます。歳入の主なものは、情報処理システム導入費負担金が7千543万4千円の増額、会館償還金負担金が5千752万7千円の減額、し尿処理建設費負担金が5千918万4千円の減額、一般廃棄物処理事業債が4億3千930万円の減額などでございます。歳出総額は11億1千357万円で前年度に比べ5億265万6千円の減額となっております。歳出の主なものは、ごみ焼却処理施設整備費が4億8千814万5千円の減額、ふるさと会館償還金が5千752万7千円の減額などでございます。歳入歳出差引額及び実質収支額は、6千351万5千円でございます。また、清掃費に関します各処理量につきましては、し尿処理量が、1万1千312キロリットルで前年度に対し、328キロリットル減少いたしました。その内容といたしましては、生し尿が前年に引き続き186キロリットル減少し、浄化槽汚泥も142キロリットルの減少となりました。搬入されるし尿等の全体量に占める浄化槽汚泥の割合は年々増加し72%になっております。ごみ処理量の実績は、ごみ搬入総量が4千685tで前年度に比べ70.3tの増量となりました。ごみ焼却量は、平成22年度の焼却処理施設基幹的整備工事により、民間処理業者で委託処理しましたので、組合の焼却施設での焼却量は大幅に減少し、前年度比較では710tの増加となりました。

次に、介護保険特別会計について申しあげます。歳入総額は35億3千720万5千円で、前年度より358万5千円の増額でございます。歳出総額は35億2千6、269万8千円で、前年度に比べ5千581万3千円の増額となっており、歳入歳出差引額及び実質収支額は1千450万7千円でございます。平成23年度は、第4期介護保険事業計画の最終年で、年度でございます。被保険者等の状況は、平成24年3月末で第1号被保険者は8千459人で109人の減、認定者数は2千38人で33人の増、認定率は24.1%で、0.7%の増となっています。また、介護サービス受給者数は、居宅サービスは1千192人、地域密着型サービスは100人、施設サービスは466人、合計で1千758人となり63人の増でございます。保険給付費は、総額32億7千126万2千円で前年度と比べ、2千582万1千円の増額となっています。これは、居宅サービスが1.8%増加、地域密着型サービスが6.8%増加したためでございます。地域密着型サービスが伸びた要因としましては、小規模多機能型居宅介護サービスが3事業所開設したためでございます。サービス種、種類別で伸び額の大きいのは、介護老人保健施設で約3千100、約3千13万円の増額、小規模多機能型居、居宅介護で約1千612万円の増額でございます。一方、減少額が大きいサービスは、介護療養型医療施設で約2千33万円の減額、介護老人福祉施設で約1千636万円の減額でございます。給付費準備基金につきましては、平成22年度末残高1千、1億8千269万2千円でしたが、基金の取り崩しや戻し入れなどにより、平成23年度末の残高は1億4千600万5千円となりました。また、介護従事者処遇改善臨時特例基金につきましては、平成22年度末残高858万3千円に対し、基金の取り崩し等で残高は214万8千円となりました。同基金は平成24年3月30日に解散し、平成24年度において国へ返還することになっています。介護保険料の収納状況は、平成23年度末の未納額が総額294万3千円で未納者は54人、収納率は99.3%でございます。未納者に対しては、給付制限などの不利益処分が発生しないよう、事務組合と3町が連携をとりながら、早期完全納付の督促活動を継続してまいります。また、平成24年度の一般会計補正予算と介護保険特別会計補正予算が承認されましたが、一般会計につきましては、歳入は繰越金、歳出はシステム作業委託料とごみ処理施設維持工事費の補正に伴うものでございます。介護保険特別会計につきましては、歳入は過年度分介護給付費交付金と繰越金、歳出は基金積立金と返還金の補正に伴うものでございます。以上ご報告を申しあげます。

●副議長(石橋純二) 以上で、町長の間接行政報告及び諸般の報告は終了いたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第4 報告事項

●副議長(石橋純二) 日程第4、報告事項。報告第6号邑南町開発公社の経営状況の報告についてから、報告第10号例月現金出納検査結果報告についてまでの5件につきまして、それぞれ報告がございました。お手元にその写しを配布しておりますので、ご了承ください。

~~~~~○~~~~~

日程第5 議案の上程、説明、質疑、討論、採決

●副議長(石橋純二) 日程第5、先議といたしまして、議案の上程、説明、質疑、討論、採決に入ります。議案、議案第70号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

●石橋町長(石橋良治) 議長、番外。

●副議長(石橋純二) 石橋町長。

●石橋町長(石橋良治) 議案第70号の提案理由をご説明申しあげます。人権擁護委員の推薦につき

意見を求めることについてでございますが、最近の人権擁護行政をとりまとまぐ、とりまぐ諸情勢は、幼児、児童に対する虐待やいじめ、体罰など子供に関する問題、高齢者や障害者に関する問題あるいは夫婦間、親子間の問題など、多岐にわたり複雑化しています。こうした地域社会の中にあつて、人権擁護委員は、これらの諸問題に理解をもつて取り組み、気軽に相談に応じ、その解決に熱意を有する候補者を、市町村長が議会の意見を聞いて、法務大臣に対し推薦するものでございます。議案第70号において推薦につき意見を求めようとする森脇鈴枝氏につきましては、平成22年1月1日から人権擁護委員として活躍いただいています。このたび、任期切れを迎えるにあたり、その手腕を引き続き発揮していただきたくお願いしたいと思います。

- 副議長(石橋純二) 以上で、提出者の説明は終了いたしました。ここで、お諮りをいたします。議案第70号につきましては、人事案件でございますので、質疑、討論を省略して、直ちに採決したいと思います。これにご異議はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 副議長(石橋純二) 異議なしと認めます。したがいまして、議案第70号につきましては、質疑、討論を省略して直ちに採決することに決定をいたしました。これより議案第70号を採決いたします。議案第70号ついて適任と認めることに賛成の方の挙手を求めます。

(全員賛成)

- 副議長(石橋純二) 全員賛成。したがいまして、議案第70号人権擁護委員候補、候補者の推薦につきましては、原案を適任とすることに決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第6 議案の上程、説明

- 副議長(石橋純二) 続きまして、日程第6、議案の上程、説明に入ります。議案第71号専決処分承認、承認を求めることについて。議案第72号平成23年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定について。議案第73号平成23年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第74号平成23年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第75号平成23年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第76号平成23年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第77号平成23年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第78号平成23年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第79号邑南町防災会議条例の一部改正について。議案第80号邑南町災害対策本部条例の一部改正について。議案第81号邑南町下水道条例の一部改正について。議案第82号邑南町情報通信施設条例の一部改正について。議案第83号邑南町健康センター基金条例の制定について。議案第84号邑南町日本一の子育て村推進本部設置条例の制定について。議案第85号財産の取得について。議案第86号邑南町辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について。議案第87号平成24年度邑南町一般会計補正予算第3号について。議案第88号平成24年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号について。議案第89号平成24年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号について。議案第90号平成24年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号について。議案第91号平成24年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号について。議案第92号平成24年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号について。議案第93号平成24年度邑南町電気事、電気通信事業特別会計補正予算第2号について。以上、23議案を一括上程いたします。執行部の説明を求めます。

- 石橋町長(石橋良治) 議長、番外。
- 副議長(石橋純二) はい、石橋町長。
- 石橋町長(石橋良治) 議案第71号専決処分の承認を求めることについてでございますが、これは平成24年度邑南町一般会計補正予算第2号により、債務負担行為の補正について専決処分したものでございます。詳細につきましては、企画財政課長から説明させていただきますのでよろしく申し上げます。
- 沖企画財政課長(沖幹雄) 番外。
- 副議長(石橋純二) はい、沖企画財政課長。
- 沖企画財政課長(沖幹雄) 議案第71号専決処分の承認を求めることについて、平成24年度一般会計補正予算第2号についてご説明申しあげます。予算書の1ページをお開きいただきたいと思います。補正予算第2号は債務負担行為の補正のみでございます。2ページをお開きください。債務負担行為補正でございます。事項は羽須美地域スクールバス運行業務経費、期間は平成25年度から平成26年度、限度額は運行、管理委託費用としております。専決処分した理由でございますが、現在の運行委託先業者から委託契約解除の申し入れがあり、早急に新たな業者を選定する必要があることから8月29日専決処分したものでございます。新たな契約については、年度内の残りの期間だけでなく、平成26年度までの複数年契約としたいので、邑南川本線の例によって債務負担行為を設し、設定したものでございます。以上でございます。
- 石橋町長(石橋良治) 議長、番外。
- 副議長(石橋純二) はい、石橋町長。
- 石橋町長(石橋良治) 議案第72号から議案第78号までの提案理由をご説明申しあげます。これらの議案は、平成23年度の各会計の決算につきまして、議会の議決を求めるものでございます。一般会計につきましては、歳入決算額129億2千750万8千円、歳出決算額127億6千219万3千円、歳入歳出差引1億6千531万5千円となっております。国民健康保険事業特別会計につきましては、歳入決算額14億8千825万9千円、歳出決算額14億8千795万8千円、歳入歳出差引30万1千円となっております。国民健康保険直営診療所事業特別会計につきましては、歳入決算額9千661万4千円、歳出決算額9千476万9千円、歳入歳出差引184万5千円となっております。後期高齢者医療事業特別会計につきましては、歳入決算額3億4千561万8千円、歳出決算額3億4千248万3千円、歳入歳出差引313万5千円となっております。簡易水道事業特別会計につきましては、歳入決算額6億5千906万円、歳出決算額6億5千325万2千円、歳入歳出差引580万8千円となっております。下水道事業特別会計につきましては、歳入決算額10億4千572万9千円、歳出決算額10億3千490万3千円、歳入歳出差引1千82万6千円となっております。電気通信事業特別会計につきましては、歳入決算額3億5千465万7千円、歳出決算額3億4千919万2千円、歳入歳出差引546万5千円となっております。一般会計、特別会計合わせまして、歳入決算額169億1千744万5千円、歳出決算額167億2千475万円、歳入歳出差引1億9千269万5千円となり、一般会計の繰越すべき財源を除いた実質収支は、1億6千928万円となっております。以上、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明させていただきますので、よろしく申し上げます。
- 沖企画財政課長(沖幹雄) 番外。
- 副議長(石橋純二) はい、沖企画財政課長。
- 沖企画財政課長(沖幹雄) 議案第72号平成23年度邑南町一般会計歳入歳出、歳出決算の認定について、ご説明申しあげます。決算書をお開きいただきたいと思います。1ページをお開きくださ

い。1ページから10ページまでにつきましては歳入歳出、歳出決算書ですが、主な項目の説明は事項別明細書の方において説明いたしますので、ここでは合計額のみ申しあげます。5ページをお開きください。歳入合計でございますが、予算額129億6千384万7千円に対しまして、調定額は130億4千449万772円、収入済額が129億2千750万7千632円、不能欠損額が160万3千956円、収入未済額が1億1千537万9千184円でございます。収入済額は前年度に比べ4.7%の減少、額にして6億3千674万2千円の減少でございます。続いて9ページをお開きください。歳出の合計でございます。予算額は歳入と同額でございます。支出済額は127億6千219万2千853円、翌年度への繰越額が8千318万3千円、不用額が1億1千847万1千147円でございます。支出済額は前年度に比べ4.2%減少、額にしまして5億6千447万1千円の減少でございます。歳入歳出差、差し引き残高は、1億6千531万4千779円でございます。主な項目については事項別明細書で説明いたしますので、まず11ページをお開きください。ページ数が多く200ページにおよ、及びますので主なもののみ説明させていただきます。まず、町税でございます。一番上の町税全体の額でございますが、調定額が10億7千796万1千263円、これは前年度に比べ0.2%の減少でございます。これに対しまして収入済額が10億4千15万3千806円、収納率96.5%でございます。前年度が97.2%でございましたので0.7%下がっております。不能欠損額は47件で160万3千956円。収入未済額が432件で3千620万3千501円となっております。続いて13ページをお開きください。2款の地方譲与税でございますが、収入済額が1億7千724万5千218円で前年度に比べ1.7%減少しております。続いて15ページをお開きください。6款の地方消費税交付金でございますが、収入済額が1億402万3千円でございます。これは前年度に比べ3.4%減少しております。続いて17ページをお開きください。9款の地方特例交付金でございますが、これは前年度並みの収入済額となっております。続いて10款地方交付税でございますが、収入済額が68億6千148万3千円です。これは歳入総額の53%を占めております。前年度と比べまして0.6%の減少、金額にしまして約4千万円の減少でございます。続いて19ページをお開きください。12款分担金及び負担金のところでございますが収入未済額がございます。まず、農林水産業費分担金の農業費分担金のところでございますが、2件ございまして1件目は過年度分の堆肥化処理施設整備事業費分の整備事業分担金2、237万3千370円でございます。前年度と同額でございます。それからもう1件が農地農業用施設単独災害復旧事業負担金6万5千100円でございます。この6万5千100円につきましては今年度に入り既に納入されております。それからその下の林業費分担金でございますが、これは平成23年度から平成24年度へ繰り越しました林地崩壊防止事業の分担金200万円でございます。それから下の方へ行っていただきまして児童福祉費負担金、保育料でございますが収入済額が3千445万9千610円、前年度に比べまして約3千400万円の減額となっております。これは日本一の子育て事業によりまして2子以降無料化したためでございます。それから収入未済額が108万5千720円でございます。これにつきましては前年度に比べまして大幅に減少しております。一番下の老人福祉費負担金のところにも収入未済がございます。過年度分の負担金でございます1件400、1件でして43万800円でございます。前年度と同額でございます。続いて21ページをお開きください。2番目のところの教育費負担金、学校給食費負担金でございますが、ここにも収入未済額が1件ございます。過年度分で4万7千790円でございます。現年度分の納付率は100%でございます。続いて13款使用料及び手数料でございますが、総務手数料のところに1件未済がございます。行政財産使用料で4万3千489円ござい

ます。それから衛生使用料の保健衛生費使用料でございますが、斎場使用料1件2万円の未済がございます。これにつきまして既に今年度に入り納入されております。続いて23ページをお開きください。6目土木使用料、土木施設使用料、これは住宅料でございますが、収入未済額が147万5千405円でございます。前年度に比べ20.5%減少しております。次に25ページをお開きください。14款国庫支出金でございますが、収入済額が9億8千23万7千603円で前年度に比べ32.6%減少しております。ここにも収入未済額がありますが、これにつきましては27ページをお開きください。一番上のところでございますが、公共土木施設災害復旧費負担金317万3千円、これは公共土木施設災害の繰越事業に係る国庫負担金でございます。次に29ページをお開きください。15款県支出金でございます。収入済額が8億6千978万2千995円、前年度に比べ20.7%減少でございます。ここでも収入未済が2件ございます。33ページをお開きください。1件目ですが一番下のところ林業費補助金でございます。392万7千円収入未済がございますが、これは繰越事業に係る林地崩壊防、防止事業費の補助金でございます。次に35ページをお開きください。8目の災害復旧費県補助金のところの農地災害復旧費補助金でございます。ここに364万2千300円の収入未済がございますが、これも繰越事業に係る県補助金でございます。次に39ページをお開きください。中ほどの財産売払収入でございます。まず土地建物売払収入138万7千825円計上しております。これにつきましては不用地の売却が4件、出羽川改修関係1件の町有地売却収入でございます。その下の不要品売払収入でございますが、これは日和小学校の不用備品売却などの収入でございます。次に41ページをお開きください。18款繰入金でございます。1目の財政調整基金繰入金でございますが2億5千万を、2億5千万円を取り崩しまして日本一の子育て村基金へ積み立てをしております。2目の減債基金繰入金でございますが5千114万8千円を取り崩しております。これは簡易水道事業会計、下水道事業会計の繰上償還に充当したものでございます。それから一番下のところでございますが地域福祉基金繰入金2千790万円を取り崩しております。これは社会福祉総務費へ充当し、国民健康保険事業会計へ繰り出しをしたものでございます。43ページをお開きください。19款繰越金でございますが前年度繰越金2億3千758万4千967円でございます。次に45ページをお開きください。一番上の住宅新築資金等貸付金元利収入でございますが、収入未済額が千231万6千830円でございます。これは前年度に比べ8.4%減少しております。次の受託事業収入の造林受託事業収入のところでございますが、森林総合研究所造林受託事業収入が収入未済となっておりますが、これも繰越事業に係るものでございまして521万5千475円未済となっております。次に47ページをお開きください。雑入でございます。ここにも2件収入未済がございます。一つ目が糸谷川清掃費用負担金90万1千644円、もう一つが過年度分の生活保護費返還金徴収金戻入未済金65万8千300円でございます。次に49ページをお開きください。21款町債でございますが、合計で15億8千670万円を借り入れております。ここでも収入未済額4千180万円ございますが、それぞれ繰越事業に係るものでございます。続いて歳出の方へ移らさせていただきます。53ページをお開きください。1款議会費でございますが支出済額が1億1千436万7千561円、議員共済年金制度廃止にともなう負担により例年より大きい支出、支出済額になっております。次に55ページをお開きください。2款総務費でございますが支出済額が21億5千778万8千714円で前年度に比べ5.5%減少しております。続いて59ページをお開きください。中ほどやや下よりの、25節積立金のところでございますが財政調整基金積立金として8千994万1千822円を積み立てております。それから減債基金積立金として5億3千503万1千802円を積み立てております。減債基

金の積み立てにつきましては起債5億円枠の枠外とした町債の償還の将来負担分について事前に積み立てたものが多く含まれております。具体的には過疎ソフト事業の関係、山村開発センター建設事業関係分などでございます。次に67ページをお開きください。これも上の方の25節積立金でございますが日本一の子育て村推進基金積立金、先ほどの2億5千万に加えて、新たに5千万と、それから寄付金も合わせまして3億54万1千円を積み立てしております。次に80ページをお開きください。賦課徴収費の欄でございます。23節償還金利子及び割引料、支出済額が2千649万1千753円となっております。これにつきましては固定資産税の平成18年度分評価額訴訟の結審による還付、還付金及び還付加算金が約千770万円含まれております。さらに上の方ですが8節の報償費の弁護士報酬、19節の負担金の一番下、訴訟、訴訟費用負担金等もこれに関係するものでございます。次に87ページをお開きください。3款民生費でございます。支出済額が28億8千313万9千915円でございます。前年度に比べ8.4%増加でございます。92ページをお開きください。一番上の方ですが社会福祉施設費の19節補助金でございますが桃源の家改築事業費補助金として5億5千万円を支出しております。さらに、あのう、繰越明許費のところに3千万円計上しておりますが、これは繰越事業に係るものでございます。次に101ページをお開きください。3目の児童福祉施設費でございますが、19節の負担金及び交付金のところに病児保育施設費整備補助金がございます。これは邑智病院と三上医院に病児保育室整備されたことに対します補助金でございます。次に103ページをお開きください。一番下のところ4款衛生費でございます。支出済額が14億2千135万9千84円11.4%の減少でございます。減少した要因は前年度に医療福祉従事者確保奨学基金積み立てを行っていること、あるいは簡易水道事業会計への繰り出しが今年、23年度は減少したことによります。次に109ページをお開きください。上のところは母子保健費でございますが13節委託料、20節扶助費がございます。委託料の支出済額が982万256円、扶助費の支出済額が2千279万9千450円でございます。これは日本一の子育て村事業の関係の妊婦、乳児検診あるいは子ども医療費助成でございますが、委託料の方が前年度に比べまして約220万円の増額、扶助費の方が約700万円の増額となっております。次に115ページをお開きください。5款労働費でございます。支出済額が1億4千496万3千967円、前年度に比べ29.3%増加しております。117ページをお開きください。2目の緊急雇用創出事業費でございますが、セラピータウン構想推進なの、など13事業を実施しております。それから下の、3目ふるさと雇用再生事業でございますが、耕畜連携促進事業など6事業を実施しております。次に119ページをお開きください。6款農林水産事業費でございますが、支出済額が11億4千541万9千308円で20.1%の減少でございます。減少した要因は前年度、農林業後継者育成奨学基金を積み立てたことや、亀、農道亀谷中線、三国橋、丹渡橋などの農業基盤整備事業を行っていましたが、今、23年度は減少したためでございます。次に135ページをお開きください。2目林業振興費のところに繰越がございます。522万7千円でございますが、森林総合研究所受託事業を繰り越したものでございます。次に137ページをお開きください。7款商工費でございますが支出済額が1億4千65万9千586円、前年度に比べ40.41.3%増加しております。次に139ページをお開きください。上の欄は商工業振興費でございますが新規事業として耕すシェフの研修事業を行っております。8節の報償費のこの研修費報償金180万円、それから13節の委託料のその他委託料が169万9千635円、これは研修委託費でございます。次に141ページをお開きください。中ほど下より、工事請負費がございます。これはいこいの村サッシ改修ほかの工事費でございます。3千240万3千円を支出しております。それ

から一番下、8款土木費でございますが、支出済額が9億9千275万9千149円、前年度に比べ3.1%上昇でございます。次に145ページをお開きください。中ほど道路維持費のところに繰り越しがございます。1千7万3千円でございますが、これは鹿子原郡山線、福、福原北線の繰越事業に係るものでございます。149ページをお開きください。ここは道路新設改良費でございますが、工事請負費として2億6千467万9千750円を支出しております。路線名につきましては大町原猪子山線、高見宇都井線、石見中央線、田代有安線、判場川角線、中ノ原新山線、鱒淵馬野原線について道路改良工事を行ったものでございます。次に153ページをお開きください。上の方の欄は住宅管理費でございますが、15節の工事請負費の中でございますが、ストック改善事業として十日市団地の工事請負費が4千245万3千600円でございます。それから中ほど23節償還金利子及び割引料でございますが、支出済額が6千107万8千406円となっております。これは住宅料の算定あや、誤りによる還付金と還付加算金でございます。それから下の2目住宅建設費のところですが、ここにも繰り越しがありまして、森実団地の造成関係1千885万8千円を繰り越しております。次に155ページをお開きください。9款消費費でございます。支出済額が5億2千731万865円、前年度に比べ18.1%増加でございます。次に161ページをお開きください。10款教育費でございます。支出済額が10億5千304万6千246円、前年度に比べ8.4%減少しております。次に169ページをお開きください。2項の小学校費1目学校管理費でございますが、平成22年度からの繰越事業がたくさんございました。住民生活に光りを注ぐ交付金事業、きめ細やかな、きめ細かな交付金事業により各小学校の施設や設備の整備をしております。次に173ページをお開きください。一番下の学校建設費のところでございますが、耐震補強工事を実施しております。石見東小学校、口羽小学校、日貫小学校、高原小学校、阿須那小学校の各屋体を実施しております。~~また日和小学校の解体工事を実施しております。~~(訂正申し出承認)次に175ページをお開きください。中学校費の学校管理費のところでございますが、これも小学校同様繰越事業により図書室エアコン整備等を行っております。次に179ページをお開きください。中ほどに学校建設費がございますが、これは石見中学校大規模施設工事等を実施したものでございます。次に191ページをお開きください。中ほど6目地域振興費のところでございますが、補助金として夢づくりプラン推進事業補助金、4地区に交付しております。次に195ページをお開きください。11款災害復旧費でございます。支出済額が7千142万8千830円でございます。これも繰り越しがございます千902万5千円を繰り越しております。次に197ページをお開きください。下の方の12款公債費でございます。支出済額が21億994万9千628円でございます。前年度に比べ14.0%減少しております。次に199ページをお開きください。予備費のところでございます。合計しまして2千933万6千500円を予備費の方から、それぞれの科目に充当しております。主なものとしましては災害復旧に862万4千500円、それから国保会計への繰り出しに640万円、地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助事業に311万1千円、それから名誉町民の町民葬の関係に298万1千円を使用しております。続いて最後のページをお開きください。実質収支に関する調書でございます。歳入総額が129億2千750万7千632円、歳出総額が127億6千219万2千853円、歳入歳出差引額が1億6千531万4千779円、翌年度へ繰り越すべき財源としまして繰越明許費繰越額が2千341万5千円でございます。実質収支額でございますが1億4千189万9千779円でございます。以上でございます。よろしくお願ひいたします。

●副議長(石橋純二) ここで休憩に入らせていただきます。再開は午前11時とさせていただきます。

—— 午前10時48分 休憩 ——

—— 午前11時00分 再開 ——

●副議長(石橋純二) 再開をいたします。

●沖企画財政課長(沖幹雄) 番外。

●副議長(石橋純二) はい、沖企画財政課長。

●沖企画財政課長(沖幹雄) 先ほどの議案第72号の説明の中で一か所誤りがございましたので訂正をさせていただきたいと思っております。平成23年度邑南町一般会計歳入歳出決算書の173ページの学校建設費の説明の中で各小学校の屋体の耐震補強に加えて日和小学校の解体も、ここで行ったように説明いたしました。日和小学校の解体は、この費目ではやっておりません。前のページの171ページ、ここは学校管理費でございますが、その13節の委託料あるいは15節の工事請負費の中で日和小学校の解体工事を行っておりますので、あのう、訂正させていただきたいと思っております。

●副議長(石橋純二) ここで、あのう、沖企画財政課長より訂正の、がございました。案内がございました。ご了解いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

●副議長(石橋純二) 続いて議案の説明をお願いいたします。

●服部町民課長(服部導士) 番外。

●副議長(石橋純二) 服部町民課長。

●服部町民課長(服部導士) 議案第73号平成23年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の承認、認定についてご説明申し上げます。1ページをお開きください。1ページから8ページまでが歳入歳出決算書でございます。主な項目の説明につきましては、事項別明細書で説明させていただきますので、ここでは合計額のみ申し上げます。3ページ、4ページをお開きください。まず、歳入合計でございますが、予算現額14億9千996万2千円に対しまして、調定額が15億636万345円、収入済額が14億8千825万9千22円、不納欠損額が2千500円、収入未済額が1千809万8千823円でございます。なお、歳入総額につきましては、前年度と比べ1千468万2千991円、率にして1%の減でございました。続いて、7ページ、8ページをお開きください。歳出の合計でございますが、予算現額は同額で、同額でございます。支出済額は14億8千795万7千782円、翌年度繰越額はなく、不用額が1千200万4千218円でございます。なお、歳出総額につきましては、前年度と比べ38万284円、率にして0.03%の増でございました。また、歳入歳出を差し引きますと30万1千240円でございます。主な項目につきましては、事項別明細書でご説、ご説明いたしますので、9ページ、10ページをお開きください。まず、1款の国民健康保険税でございますが、一般被保険、保険者国民健康保険税の現年度分につきましては、調定額1億9千387万4千116円に対しまして、収入済額が1億8千756万8千207円で、収入未済額は630万5千909円でございます。滞納繰越、繰越分につきましては、調定額1千496万7千553円、535円に対しまして、収入済額が464万1千589円、不納欠損額が1件分で2千500円、収入未済額は1千32万3千446円でございます。退、退職被保険者等国民健康保険税の現年度分につきましては、調定額4千129万2千584円に対しまして、収入済額が4千24万1千793円で、収入未済額は105万791円でございます。滞納繰越分につきましては、調定額69万5千559円に対しまして、収入済額、済額が36万8千393円で、収入未済額は32万7千166円でございます。国民健康保険税全体では、徴

収率が92.8%、前年度と比べ1.1%下がり、収入未済額は133人で1千800万7千312円、前年度と比べ232万8千518円、率にして14.9%の増でございます。次に、11ページ、12ページをお開きください。4款の国庫支出金の国庫負担金でございますが、療養給付費負担金につきましては、一般被保険者の療養給付費のほか、老人保健医療費拠出金、介護納付金、後期高齢者医療支出金に対する34%の国庫負担金でございます、合計で2億3千338万6千930円でございます。高額医療費共同事業負担金につきましては、歳出の高額医療費共同事業医療費拠出金に対する4分の1の国庫負担金でございます、665万9千71円でございます。特定健康診査等負担金につきましては、特定健診等の保健事業に対する3分の1の国庫負担金でございます、250万9千200円でございます。次に、国庫補助金でございますが、普通調整交付金が8千703万3千円で、前年度と比べ316万8千円、率にして3.8%の増でございます。特別調整交付金につきましては、756万9千円で、前年度と比べ201万4千円、率にして36.3%の増でございます。次に、30、13ページ、14ページをお開きください。5款の県支出金の県負担金でございますが、高額医療費共同事業負担金、特定健康、特定健康診査等負担金ともに、国庫負担金での説明と同様でございます、それぞれ4分の1の665万9千71円と、3分の1の250万8千円でございます。次に、県補助金でございますが、15ページ、16ページをお開き、お開きください。普通調整、普通財政調整交付金が4千94万8千円で、前年度と比べ129万6千円、率にして3.1%の減でございます。特別財政調整交付金につきましては、392万6千円で、前年度と比べ73万円、率にして15.7%の減でございます。次に、6款の共同事業交付金でございますが、これは高額医療費の保険者負担に対する共同事業による歳入でありまして、保険者負担が8万円を超え80万円以下の部分は、保険財政共同安定化事業交付、交付金として59%が、保険者負担が80万円を超えた部分は、高額医療費共同事業交付金として同じく59%が交付され、平成23年度には合計で1億5千648万2千208円の交付を受けております。次に、8款の療養給付費交付金でございますが、これは退職者療養給付費交付金でありまして、平成23年度は1億4千547万136円の交付を受けております。次に、9款の繰入金でございますが、17ページ、18ページをお開きください。基金繰入金を2千905万5千円行っておりまして、前年度と比べますと、皆増となっております。次に、一般会計繰入金でございますが、保険基盤安、安定繰入、繰入金につきましては、保険料軽減分として3千138万8千260円、保険者負担、支援分として789万772円、合計3千927万9千32円繰り入れております。前年度と比べて149万2千806円、率にして3.7%の減でございます。一般会計繰入金につきましては、合計1億1千375万9千210円で、前年度と比べますと、財政調整繰入金の減少が影響し、3千215万8千764円、率にして7.9%の減でありました。繰入金全体では、1億8千209万3千242円で、前年度と比べ459万6千570円、率にして2.5%の減でございます。次に、19ページ、20ページをお開きください。12款の前期高齢者交付金につきましては、平成23年度の概算と平成21年度の精算、調整により、3億6千431万72円で、77円でございます。続きまして歳出でございますが、21ページ、22ページをお開きください。まず、1款の総務費の一般管理費でございますが、人件費、総務、総務費の、事務費のほか、国保連合会負担金、情報システム課負担金などにより、5千454万4千877円でございます。次に、23ページ、24ページをお開きください。運営委員会費につきましては、年2回運営協議会、協議会を開催しておりまして、27万7千800円でございます。続きまして、2款の保険給付費の療養諸費でございますが、一般被保険者療養給付費負担金につきましては、7億6千320万826円で、昨年

度と比べ877万5千906円、率にして1.1%の減、退職被保険者等療養給付費負担金につきましては、1億575万5千691円で、前年度と比べ2千39万6千630円、率にして23.9%の増でございます。次に、25ページ、26ページをお開きください。高額療養費でございますが、一般被保険者高額療養費負担金につきましては、1億295万4千997円で、前年度と比べ10万3千840円、率にして0.1%の増、退職被保険者等高額療養費負担金につきましては、1千717万4千688円で、前年度と比べ470万6千455円、率にして37.7%の増でございます。続きまして、27ページ、28ページをお開きください。助産諸費の出産育児一時金につきましては、6件で252万円、葬祭諸費の葬祭費につきましては、25件で75万円でございます。なお、備考にございますように、補正対応できない時期に葬祭費が発生しておりまして、3万円予備費を使用させていただいております。次に、29ページ、30ページをお開きください。4款の介護納付金につきましては、7千14万6千900円で、前年度と比べ603万3千12円、率にして9.4%の増でございます。次に、5款の保健事業費の特定健康診査等事業費でございますが、特定健診やドックの委託事業のほか、健診データの管理、啓発活動、活動などについて、1千542万100、1千542万1千653円で、前年度と比べ58万2千725円、率にして3.9%の増でございます。次に、31ページ、32ページをお開きください。6款の共同事業拠出金でございますが、高額医療費が急激に増加した場合に保険者の負担を緩和するため共同事業を行っておりまして、これはその事業への拠出金でございます。高額医療費共同事業医療費は、高額医療費の保険者負担が80万円を超える部分が該当し、その拠出金が2千663万6千481円、33ページ、34ページをお開きいただき、保険財政共同安定化事業は、8万円を超え80万円以下の部分が該当し、その拠出金が事業費拠出金、事務費拠出金と合わせ1億4千3万7千782円でございます。拠出金全体では、121万3千928円、率にして0.7%増の、1億6千667万4千263円でございます。次に、9款の諸支出金でございますが、一般被保険者保険税還付金につきましては、57件で109万4千800円、退職被保険者等保険税還付金につきましては、1件で3千円、いずれも遡って資格喪失があったことによる還付でございますが、十分な予算をもっておりませんでしたので、予備費を使用させていただいております。次に、償還金につきましては、療養給付費等の国庫負担金と特定健診の国庫負担金の返還金を、2千684万2千31円でございます。次に、35ページ、36ページをお開きください。直営診療所事業特別会計繰出金につきましては、特別調整交付金、交付、交付金分として、へき地診療所分が617万6千円、胸部エコー画像診断装置の補助分として105万円、合計で722万6千円でございます。なお、へき地診療所分につきましては、阿須那診療所の診療日数の増加に伴い、前年度と比べ、286万1千円、率にして86.3%の増でございます。次に、10款の後期高齢者支援金につきましては、1億4千719万1千526円で、前年度と比べ1千207万9千923円、率にして8.9%の増でございます。次に、37ページ、38ページをお開きください。予備費につきましては、先ほどご説明いたしましたように、葬祭費と還付金へ合計92万5千円使用させていただいております。最後のページをお開きください。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額が14億8千825万9千22円、歳出総額が14億8千795万7千792円、歳入歳出差引額が30万1千240円、翌年度に繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は30万1千240円で、40円でございます。以上が、平成23年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の説明でございます。続きまして、議案第74号平成23年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について、ご説明申しあげます。1ページをお開きください。1ページから4ページまでが歳

入歳出決算書でございます。主な事項の説明につきましては、事項別明細書で説明させていただきますので、ここでは合計額のみ申しあげます。まず、歳入合計額で、合計額でございますが、予算現額9千592万7千円に対しまして、調定額が9千661万3千861円、収入済額は同額の9千661万3千861円で、収入未済額はございません。なお、歳入総額につきましては、前年度と、前年度と比べ1千433万332円、率にして14.7%の増でございました。続いて、3ページ、4ページをお開きください。歳出の合計でございますが、予算現額は同額でございます。支出済額が9千476万9千36円、翌年度繰越額はなく、不用額が115万7千964円でございます。なお、歳出総額につきましては、前年度と比べ1千500万6千704円、率に、率にして18.8%の増でございました。また、歳入歳出を差し引きますと184万4千825円でございます。主な事項につきまして事項別明細書でご説明、ご説明いたします。5ページ、6ページをお開きください。まず、1款の診療収、診療収入でございますが、国民健康保険診療報酬収入が318万8千992円、社会保険診療報酬収入が10、135万5千789円、一部負担金が381万4千910円、その他診療報酬収入が22万9千764円、後期高齢者医療診療報酬収入が2千191万9千305円、診療収入全体で3千50万8千760円で、前年度と比べ543万5千856円、率にして21.7%の増でございます。続きまして、7ページ、8ページをお開きください。3款の繰入金でございますが、一般会計繰入金につきましては、5千567万4千円、事業会計繰入金につきましては、国民健康保険事業特別会計でご説明いたしました特別調整交付金、交付、交付金分として722万6千円でございます。次に、5款の諸収、諸収入の雑入でございますが、保険対象外の自費などの負担金収入で58万5千104円でございます。続きまして、歳出でございますが、9ページ、10ページをお開きください。まず、1款の総務費の、総務費の一般管理費でございますが、人件費、事務費、管理費で5千957万5千542円、前年度と比べ1千161万5千290円の増でございます。また、11ページ、12ページをお開きいただき、備品購入費でございますが、国民健康保険事業特別会計でご説明いたしました特別調整交付金、交付金分として補助を受けました阿須那診療所の胸部エコー画像診断装置のほか、阿須那診療所の複写機、井原診療所と日貫診療所のテレビとエアコンを購入しております。次に、2款の医業費でございますが、医療費消耗品材料費が51万5千318円、薬など医薬品衛生材料費が1千793万2千544円、合計で1千844万7千862円、前年度と比べ339万1千414円の増でございます。次に、3款の公債費でございますが、元金が1千637万3千632円、13ページ、14ページをお開きいただき、利子が37万2千円、合計で1千674万5千632円でございます。なお、年度末の地方債残高は阿須那診療所分として4千971万3千599円でございます。予備費の使用はございません。最後のページをお開きください。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額が9千661万3千861円、歳出総額が9千476万9千36円、歳入歳出差引額が184万4千825円、翌年度に繰りこ、繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は同額の184万4千825円でございます。以上が、平成23年度国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の説明でございます。続きまして議案第75号平成23年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、ご説明申しあげます。1ページをお開きください。1ページから4ページまでが歳入歳出決算書でございます。主な項目の説明につきましては、事項別明細書で説明させていただきますので、ここでは合計、合計額のみ申しあげます。まず、歳入合計でございますが、予算現額3億4千627万6千円に対しまして、調定額が3億4千564万1千700、746円、収入未済額が、収入済額が3億4千561万8千116円。不納欠損額が3千950円、

収入未済額が1万9千680円でござ、ございます。なお、歳入総額につきましては、前年度と比べ231万3千635円、率にして0.7%の減でございました。続いて、3ページ、4ページをお開きください。歳出の、歳出の合計でございまして、予算現額は同額でございまして。支出済額が3億4千248万2千829円、翌年度繰越額、繰越額はなく、不用額が379万3千171円でございます。なお、歳出総額につき、総額につきましては、昨年度と、前年度と比べ209万4千112円、率にして0.6%の減でございました。また、歳入歳出を差し引きますと313万5千287円でございます。主な項目につきまして事項別、事項別明細書でご説明いたします。5ページ、6ページをお開きください。まず、1款の後期高齢者医療保険料でございまして、特別徴収保険料につきましては、年金から天引きされるものでございまして、現年度分が6千990万920円でございます。普通徴収、普通徴収保険料につきましては、納付書、口座振替により直接納付するものでございまして、現年度分が2千149万710円、滞納繰越分が2千400円でございます。なお、保険料全体では、徴収率が100%ではあります、収入未済額は2名で1万9千680円でございます。次に、3款の保健事業委託金でございまして、後期高齢者の健康診査を後期高齢者医療広域連合から委託され、225万258円を収入しております。続きまして、4款の繰入金でございまして、7ページ、8ページをお開きください。一般会計繰入金でございまして、事務費繰入金、保険基盤安定繰入金、療養給付費負担金繰入金を合わせまして2億3千592万1千円でございます。次に、6款の諸収入でござい、ございまして、9ページ、10ページをお開きください。雑入として、保険料還付返戻、返納金を3万円、過年度療養給付費負担金返還金を1千266万5千688円収入しております。続きまして、11ページ12ページをお開きいただき、歳出でございます。まず、1款の総務費の一般管理費でございまして、情報システム課負担金をはじめとする事務費が、732万4千504円でございます。次に、2款の後期高齢者医療広域連合納付金でございまして、保険料等負担金につきましては、13ページ、14ページをお開きください。保険料負担金が9千135万8千750円、保険基盤安定負担金が6千21万1千74円、合計で1億5千156万9千824円でございます。療養給付費負担金につきましては、1億8千72万382円でございます。次に、3款の保健事業費でございまして、歳入でもご説明いたしました広域連合から委託を受けて行う健診事業で、228万7千318、18円でございます。15ページ、16ページをお開きいただき、予備費につきましては使用しておりません。最後のページをお開きください。実質収支に関する調書でございまして、歳入総額が3億4千561万8千116円、歳出総額が3億4千248万2千829円、歳入歳出差引額が313万5千287円、翌年度に繰り、繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は同額の313万5千287円でございます。以上が、平成23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の説明でございます。よろしくお願いいたします。

●上田水道課長(上田英至) 番外。

●副議長(石橋純二) はい、上田水道課長。

●上田水道課長(上田英至) 議案第76号平成23年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明いたします。決算書の1ページをお開きください。1ページから4ページまでは歳入歳出の決算書でございまして、詳細は事項別明細書でご説明いたします。合計のみ歳入から説明いたします。予算現額は6億5千698万8千円、調定額は6億6千89万9千956円、収入済額は6億5千906万672円、収入未済額は183万9千284円でございます。3ページをお開きください。歳出でございまして、予算現額は歳入と同額でございます。支出済額は6億5

千325万2千649円、不用額は373万5千351円でございます。歳入歳出差し引き額は580万8千23円でございます。5ページをお開き、お開きください。歳入でございますが、分担金及び負担金ですが、収入済額は109万2千円で、内訳は新規加入分担金でございます。続いて使用料及び手数料ですが、これは、ほとんどが水道使用料です。収入済額は2億1千172万6千502円で、収入未済金は175万5千284円です。収納率は99.18%です。国庫支出金ですが、収入済額は4千837万3千円で、内訳は統合簡水事業や基幹改良事業補助金でございます。6ページをご覧ください。すいません。7ページをご覧ください。繰入金でございますが、他会計繰入金で、収入済額は2億7千744万2千円でございます。繰越金ですが、前年度繰越金で収入済額は255万8千88円でございます。町債ですが、これは簡易水道建設事業債で収入済額は1億1千710万円でございます。11ページをご覧ください。歳出ですが、総務費です。支出済額は1億2千335万1千867円でございます。主なものについてご説明いたします。需用費が2千683万7千134円で、これは電気代と修繕料が大半を占めています。役務費が1千585万4千464円です。14ページをご覧ください。これは遠方監視用の通信費と水質検査手数料が主なものでございます。委託料が832万9千602円で、監視システムや施設等の保守点検委託料と検針委託料が主なものでございます。公課費が1千31万600円でございますが、これは消費税が主なものでございます。簡易水道事業費ですが、支出済額は1億7千378万8千604、46円でございます。主なものは次の15ページの委託料の4千301万1千150円で、これは水道工事等の設計業務委託料でございます。15ページをご覧くださいませ。工事請負費が1億2千794万9千850円で、これは統合簡水事業や基幹改良事業等の工事費でございます。基金積立金が1千万10円でございます。公債費が3億4千611万2千126円でございます。償還元金が2億5千330万807円で、償還利子が9千281万1千319円でございます。3ページ捲っていただきます。実質収支に関する調書でございます。歳入総額が6億5千906万672円、歳出総額が6億5千325万2千649円で、歳入歳出差引額また実質収支額とも、580万8千23円でございます。続きまして、議案第77号平成23年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定につきまして、ご説明いたします。決算書の1ページをお開きください。1ページから4ページまでは歳入歳出の決算書でございますが、詳細は事項別明細書で説明いたします。合計のみ歳入から説明いたします。予算現額は10億4千7万3千円、調定額は10億4千731万3千961円、収入済額は10億4千572万9千606円、収入未済額は158万4千355円でございます。3ページをご覧くださいませ。歳出でございますが、予算現額は歳入と同額でございます。支出済額は10億3千490万3千633円、不用額は516万9千367円でございます。歳入歳出差し引き額は1千82万5千973円でございます。続きまして5ページをご覧くださいませ。歳入でございますが、分担金及び負担金ですが、収入済額は1千180万円で、内訳は衛生費分担金が405万円、農林水産業費分担金が245万円、土木費分担金が530万円でございます。続いて使用料及び手数料ですが、収入済額は1億5千778万5千552円、収入未済額は124万4千355円です。これは、ほとんどが生活排水処理、農業集落排水、下水道の使用料で、収納率は99.22%です。7ページをご覧ください。国庫支出金ですが、収入済額は2千612万円で、内訳は合併浄化槽と農業集落排水の整備にかかる交付金でございます。9ページをご覧くださいませ。繰入金ですが、収入済額は5億7千222万5千23円で、これは他会計繰入金が5億4千321万2千円と大半を占めております。残りは生活排水処理事業、農業集落排水処理事業、下水道事業の各事業の基金繰入金でございます。繰越金でございますが、前年度繰越金で収入済額は74

9万5千8円でございます。11ページをご覧くださいませ。町債ですが、これは3事業の事業債、資本費平準化債で収入済額は2億6千780万円でございます。13ページをご覧くださいませ。歳出でございます。衛生費ですが、支出済額は9千408万6千324円でございます。生活排水処理事業一般管理費は4千855万6千416円でございます。主なものとしまして、需用費が670万2千355円で、これは電気代と修繕料でございます。役務費が2千441万9千495円で、これは汚泥引き抜き手数料が主なものでございます。委託料は1千741万7千400円で、これは合併浄化槽管理委託料でございます。生活排水処理事業費は4千552万9千908円でございます。主なものは、次の15ページの工事請負費が3千176万1千765円で、これは合併浄化槽設置工事費でございます。農林水産業費ですが、支出済額は1億3千595万836円でございます。農業集落排水事業一般管理費は8千883万125円でございます。主なものは需用費が3千141万9千714円で、これは電気代と修繕料が主なものでございます。17ページをご覧ください。役務費が1千421万546円で、これは通信費と汚泥引き抜き手数料が主なものでございます。委託料が1千576万7千275円で、これは処理施設管理委託料でございます。農業集落排水事業費は4千712万711円で、主たる工事請負費が、3千543万7千500円で、これは集落排水関係の工事費でございます。土木費ですが、支出済額は1億1千879万1千14円でございます。下水、下水道事業一般管理費は6千948万9千112円でございます。19ページをご覧くださいませ。主なものとして、需用費が1千910万2千163円で、これは電気代と修繕料が主なものでございます。委託料が3千728万4千733円で、これは処理施設管理委託料でございます。21ページをご覧くださいませ。下水道整備費は4千930万1千902円でございます。主なものは、工事請負費が1千491万2千100円で、公共下水道関連の工事費でございます。基金積立金は2千901万3千23円でございます。23ページをご覧くださいませ。公債費が6億5千706万2千436円でございます。償還元金が5億373万3千993円で、償還利子が1億5千332万8千443円でございます。1ページ捲ってくださいませ。実質収支に関する調書でございます。歳入総額が10億4千572万9千606円、歳出総額は10億3千490万3千633円で、歳入歳出差引額また実質収支額とも、1千82万5千973円でございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、小林情報推進課長。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 議案第78号平成23年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明いたします。決算書の1ページをお開きいただきたいと思います。1ページから4ページまでは歳入歳出の決算書でございますが、主な項目の説明につきましては事項別明細書において説明しますので、ここでは合計額のみ申しあげます。歳入でございます。予算現額が3億5千299万1千円、調定額3億5千530万8千591円、収入済額3億5千465万6千538円、収入未済額65万2千53円でございます。続きまして、3ページをお開きください。歳出でございます。予算現額は歳入と同じでございます。支出済額3億4千919万1千806円、不用額379万9千194円でございます。差し引き残高546万4千732円でございます。続きまして事項別明細書の5ページをお開きください。歳入でございます。主なものを説明いたします。最初に分担金負担金でございますが、収入済額305万9千950円でございます。これは主に、新規加入者26件の加入負担金と引き込み工事負担金でございます。次に、使用料手数料でございます。収入済額2億2千47万8千221円でございます。主なものとしましては、基

本チャンネル利用料とインターネット利用料でございます。次に3枚捲っていただきます。11ページをお開きください。続きまして歳出でございます。総務費の一般管理費でございます。13ページをお開きください。13節の委託料でございます。支出済額4千846万7千115円の内、主なものはインターネット接続料、IP電話回線料、メールサーバーの保守料でございます。次に、14節の使用料及び賃借料の支出済額9千969万9千380円でございます。主なものは、IP電話使用料とNHK受信料でございます。賃借料の主なものとしては電柱共架料でございます。次に、15節の工事請負費支出済額1千876万6千550円でございます。主なものは電柱の支障移転に伴う光ケーブルの張替え工事でございます。次に一番下の欄、4公債費の支出済額4千767万6千638円でございます。これは、元気な地域づくり交付金事業の借入額の元利償還金でございます。2枚捲っていただきます。最後のページでございます。実質収支に関する調書の歳入歳出、歳入総額3億5千465万6千538円。歳出総額3億4千919万1千806円。歳入歳出差引額546万4千732円でございます。実質収支額も同額となっております。以上でございます。

~~~~○~~~~

(決算審査の報告)

- 副議長(石橋純二) ここで、地方自治法第199条の規定によりまして、監査委員の決算審査結果の報告を求めます。實田代表監査委員、ご登壇を願います。
- 實田監査委員 番外。
- 副議長(石橋純二) 實田代表監査委員。
- 實田監査委員 失礼します。それでは邑南町の平成23年度決算審査の報告をいたします。平成23年度の審査にあたりましては決算が正確に行われているかは元よりでございますが、平成23年度の邑南町は国の経済対策関連事業も終了いたしまして、過疎ソフト事業が本格化する中で町の財政はどのようになってきたのか。また、合併後から邑南町の財政はどのように推移してきたのか、どういう問題点があるのかを念頭に置き審査を行いました。それではお手元の審査意見書をお開きください。平成23年度邑南町各会計歳入歳出決算審査意見書。地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された平成23年度邑南町各会計歳入歳出決算及び証書類その他の政令で定められた書類の審査を終了いたしましたので次のとおり意見を付します。平成24年8月20日、邑南町監査委員實田譲、邑南町監査委員山中康樹、邑南町長石橋良治様。目次でございます。目次に沿いまして意見を述べさせていただきます。また、意見の報告は、か所においては割愛をさせていただきます。1ページでございます。各会計歳入歳出決算審査意見。審査の対象、各会計歳入歳出決算書並びに関係諸帳簿、証書類。平成23年度邑南町一般会計と下記6事業の特別会計と附属書類であります。審査の期間、平成24年7月の25日から平成24年8月10日まで、実質12日間。審査の方法、この決算審査にあたり、町長より審査に付された決算報告書に基づき計数を確認するとともに、その会計処理が適正確実に行われたかどうかを検証するため各帳票及び関係証書類との照合等審査を実施いたしました。審査の結果、審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類の計数は、関係諸帳簿、証書類を点検審査した結果、一般会計と国民健康保険事業特別会計間において、疑義のある処理がなされ、決算を終えております。しかし、広い視野にたった連結決算からしますと、決算計数に支障はないものと思われませんが、適切な予算、決算会計処理とは言い難い面もあります。また、審査の結果の詳細は以下のとおりであります。2ページでございます。決算の概況、はじめにということで、平成23年度は、国の経済対策関連事業も終了となり、その中

でも邑南町においては、日本一の子育て村構想やA級グルメなど斬新な事業を展開し、邑南町の存在をアピールした年度でありました。決算収支の状況、平成23年度の一般会計、特別会計を合わせた決算規模は下記のとおりであり、平成22年度と比較しますと歳入総額においては5.42%の減少、歳出総額においては5.05%の減少となっております。平成23年度の会計別決算収支の状況は表のとおりでございます。表を見ていただきますと合併当時の17年度の歳入歳出と23年度を比較してみますと、双方とも約30億円ばかり、それぞれ減少しております。これは経費の削減や合併効果による歳出の削減により決算規模が縮小しております。また17年度から縮小する中で、町民の要望にも応える数多くの事業を行いながら地方債が約66億円縮減をしております。また積立金においても約13億円増額ができたことは邑南町の財政は、財政計画に沿い健全化に向かって大きく成果を上げることができたと、できております。3ページでございます。普通会計であります。概要は、平成23年度一般会計における事業は、平成20年度から実施されてきた経済対策等の関連事業も平成23年度をもって終了となっております。平成23年度からは過疎ソフト事業が本格化して様々な分野の事業が展開され、一般会計の歳入総額は129億2千750万円、前年度比4.7%の減。歳出総額は127億6千219万円、前年度比4.2%の減となっております。4ページでございます。電気通信事業特別会計の概要、決算の概要は表のとおりでございます。審査結果でございます。地上デジタル放送に移行され、町民の利用促進や町民のニーズに応えられる番組の提供が望まれる中で、有料多チャンネルの加入者が130世帯となっております。利用料収入は年間87万円に対して、有料多チャンネルの年間経費は288万円掛かっております。非常に非効率な事業でありますので、今後加入促進を図って採算が見込まれる約300世帯への加入ができるかどうか。また、本チャンネルは嗜好性の高いチャンネルでもありますので、今後の事業の方向を検討すべきではないかと考えられます。財政状況、普通会計の決算状況は表のとおりでございます。下から3段目の繰上償還金は、23年度は行われておりません。5ページでございます。財政指標等の状況は表のとおりでございます。審査結果でございます。ここ近年、標準財政規模が増加してきておりましたが、平成23年度になり地方交付税と臨時財政対策債とで、約2億1千万円減少し、標準財政規模は約2億1千800万円減少しております。また、こうした状況のもとで、病院事務費補助や本格化してきた過疎ソフト事業に係る一般会計からの引当増額により、結果として経常的経費が増えたことにより、経常収支比率は、対前年度比6.9ポイント増加となり悪化しております。積立金は、新たに創設された日本一の子育て村推進基金や減債基金の積増しにより、6億3千500万円増加となっております。また、地方債については、今年度は繰上償還はありませんでしたが、通常償還額が発行額を上回り3億1千400万円減少しております。6ページでございます。普通会計歳入状況、自主、依存、財源別の概要は表のとおりでございます。審査結果です。普通会計の歳入総額の内、70%弱が地方交付税をはじめとする国や県からの財源に依存しております。自主、依存財源別の構成は昨年度とは、横這い状況となっている中で、町税収入がじり貧状況にあります。また反面では、未収金も増加をしております。人口の減少や景気の低迷が続いており、自主財源に乏しい町財政は少しでも依存財源に頼らない体質づくりが必要です。7ページでございます。普通会計歳出状況、性質別経費、概要は表のとおりでございます。審査結果でございます。事業が減少している中で物件費が増加、要因は緊急雇用、ふるさと雇用の委託料の増約3千万円のほか、その他の委託料や医療関係備品の増加によるものであります。補助費等の増加は、日本一の子育て村事業の取組みによるもので、また繰出金の減少につきましては、簡易水道事業特別会計は、22年度において事業債の繰上償還が行なわれていたこと。また簡水、

下水道事業とともに繰越された交付金事業で22年度は事業費が増加していたものが、23年度には減少したためであります。投資的経費の減少につきましては、普通建設事業で前年度からの繰越事業が減少したためであります。8ページでございます。目的別経費、概要は表のとおりでございます。審査結果でございます。議会費の増加は、議員年金制度の変更によるものであります。民生費の増加は主に桃源の家改築にともなう補助金が要因であります。労働費の増加は、ふるさと雇用、緊急雇用の事業量の増加にともなうものでございます。また、減少では、衛生費の減少は簡易水道事業の事業債への繰上償還が23年度は大きく減少し、これにともない一般会計からの繰出金が減少したものであります。また農林水産業費の減少は、22年度には耕畜連携補助金、パイプハウス整備の交付金事業や基盤整備事業があったためにこれらの減によるものであります。教育費の減少は、22年度においてプールの改修、太陽光システム設置など多数事業があったため、23年度の教育費が減少となったものであります。9ページでございます。普通会計からの、普通会計の収支から見た積立金と地方債の推移でございますが、左の方の歳入の部と歳出の部の表を見ていただきますと一般会計という損益の項目と貸借の項目で構成されております。網掛けの部分の貸借の部分の項目を除いて、両方とも網掛けの部分を除いて実質収支を見てみますと、23年度を見てみますと差額が8億7千868万9千円となっております。これと22年度からの繰越金を足しますと、まあ、23年度の財源がでてまいります。これによって積立金の状況、地方債の状況によって、また差引しますと24年度の繰越金の状況がよく分かるのではないかとというふうに思います。まあ、別の角度から見れば積立金、地方債がどのように推移していったのか、よく分かると思います。10ページでございます。財産の管理状況、平成23年度中に取得、減少した主な財産は下記のとおりでございます。また、物権、有価証券、出資、出捐金、債権は大きな変動はありません。11ページでございます。現地踏査でございます。実施日は、平成24年7月31日1日間、8か所を踏査をいたしました。学校では、口羽小学校屋体耐震補強工事及び改修工事、二つ目は矢上小学校図書室改修工事。また、道路改良、公営住宅建設事業では、一つ目は、平成23年度亀谷中地区農道舗装工事。二つ目は、公営住宅森実団地造成工事。12ページでございます。農林商工事業では、一つ目は、アグリサポート事業。二つ目は、農林商工等連携サポートセンター事業。また、桃源の家新築工事業。13ページでございます。統合簡易水道事業平成23年度遠方監視制御設備子局設置事業、矢上工区でございます。審査意見でございます。8か所の現地踏査を行いました。いずれの事業も遅れなく執行されておりました。特に農林商工等連携ビジョンの耕すシェフの研修制度事業やアグリサポート事業につきましては、素晴らしい事業ではあるとは思われますが、今後の財政、財源が懸念される中、事業の内容や持続について検討されるよう要望いたします。14ページでございます。普通会計審査意見、財政運営について。交付税等の増加が要因でここ近年、標準財政規模が増加してきておりましたが、23年度には地方交付税と臨時財政対策債とが減少し、標準財政規模が減少となっております。標準財政規模の減と歳出に係る経常的経費の増から経常収支比率が悪化しました。しかし、町の地方債の額も年々減少し、積立金は年々増加しております。現時点において財政に支障はないものと思慮しております。町の歳入財源であります町税等の未収金が増加しております。税務課に徴収専門業務担当を設けるなどして、徴収の促進を図られるよう要望いたします。財務事務について、事務については合併後、順調に進んでいるように思われておりましたが、多くの職員の退職にともなう異動によるものや、気の緩みから失念などでのミスがあります。気を引き締めて、事にあたっただきたいと思っております。一つ一つの仕事にも言えることではあります。特に決算の年度の締めくりにおいては、どういう問題が起こりうるかを事前に

各課において話し合いをして、周知徹底をして取り組まれるよう要望いたします。不用額については、普通会計では1億2千227万円となっております。主なものは小学校の耐震補強工事関係や22年度の繰越事業にかかるもので、事業の執行を怠ったものではないと認めました。財産管理については、下記のとおりでございます。15ページでございます。人事管理について丸2でございますが、合併の効果による職員数が減少してきておりますが、減員によるサービス低下も考えられ、定員適正化基準の検討をされたいと思います。まあ、既に検討されていると聞いております。職員数が減少しているにもかかわらず人件費が微増しておりますのは、社会福祉法人への職員派遣が解かれ、役場職勤務に異動したことや、職員の共済組、組合負担金の比率が近年、毎年のように上昇してきたものによるであります。16ページ、公営企業会計、国民健康保険事業特別会計、決算の概要は表のとおりでございます。審査意見です。平成22年度までに国民健康保険税が引き上げられ、ある程度療養給付費等が賄える状態となっております。療養給付費につきましては、一般被保険者分がやや減少、退職被保険者等が増加となり、療養給付費全体では増加傾向にあります。会計としては、一般会計繰入金や基金取り崩しにより、財源補てんしている状況であります。今後の運営には慎重に対応すべきであります。一方、保険税の収入未済額は、ここ近年増加して、1千800万7千円となっております。本年度、大幅に増加している中で、一層の徴収努力をされるよう要望いたします。今後、保険基盤についての厳しさは続くものと見込まれ、また制度の変革も予想されておりますので、保健指導の充実を図り、早期発見早期治療を推奨し、保険基盤のさらなる安定に努められるよう要望をいたします。17ページでございます。国民健康保険直営診療所事業特別会計、決算の概要は表のとおりであります。審査意見です。平成22年度の9月から阿須那診療所に常勤医師による診療が再開されたことにより、平成23年度は診療収入が543万円増加いたしておりますが、人件費が約1千万円増加しており、収支状況は悪化となっております。公共的な施設ではありますが、最寄りの病院への十分なアクセスを図ることを見込んで、今後の診療所のあり方を考えられるよう要望いたします。18ページでございます。後期高齢者医療事業特別会計、決算の概要は表のとおりでございます。審査意見でございます。平成20年度から始まった後期高齢者医療事業は、平成23年度には被保険者が3千182人となり昨年度より45人の減少となっております。今後とも高齢者の保健福祉の充実、健康、保健指導事業が各課連携して行われるよう体制等検討して、健全な保険事業が運営されるよう要望いたします。19ページでございます。簡易水道事業特別会計、決算の概要は表のとおりでございます。審査意見です。邑南町は簡易水道を9事業、飲料水供給施設を5施設の計14水道施設を設置しております。平成23年度末における簡易水道等の整備率は95%であります。個人設置井戸等による未加入者も多く、普及率は約82%となっております。また施設の中には、40年以上経過している施設もあり、老朽化が進み機器の故障や漏水等が度々発生しております。漏水による有収率は、70%強で推移しております。非効率となっております。今後は給水人口の減少と高齢化が進み、料金収入は減少するものと考えられ、更に平成29年度からは、上水道事業となり地方公営企業法が適用され、企業会計原則に基づく独立採算制が求められる公営企業となりますので、老朽化にともなう施設の改修や更新、維持管理体制の見直し等が急務であります。町民に安心安全な飲料水を低コストで無駄なく供給できる健全経営の基盤の構築を図られるよう要望いたします。20ページであります。下水道事業特別会計、決算の概要は表のとおりでございます。審査意見です。下水道の平成23年度末における普及率は、89.8%となっており、全国的にも高い水準となっております。設備区分では農業集落排水が38.8%、公共下水道が24.5%、合併浄化槽が25.4%、小規模簡易排水が1.1%となっ

ております。公共下水道事業は、平成23年度で全ての工事が終了しております。今後は合併浄化槽の設置事業や、その他の施設の維持管理が主体となります。維持管理につきましては、管理費が高額でありますので、今後管理の方法を含め検討されるよう要望いたします。21ページでございます。平成23年度財政健全化審査意見書、審査の結果であります。健全化判断比率は下記の表のとおりでございます。個別意見であります。実質赤字比率、また連結決算、連結実質赤字比率につきましては、赤字はございませんので該当する数値はありません。実質公債費比率であります。平成23年度の実質公債費比率3か年平均は15.7%となり、平成22年度算定分の16.7%と比較しますと1ポイント改善されております。単年度の比率では、平成21年度が17.9%、平成22年度が14.7%、平成23年度が14.7%となっております。平成23年度の数値につきましては、分母となる標準財政規模が約2億1千800万円減少したものの、分子となる元利償還金等も約6千300万円減少しており、単年度比率では前年度と同じ数値になっております。実質公債費比率の平均値は、早期健全化基準の25%を下回っております。また前年度に引き続いて地方債の借入において県知事の許可が必要となる18%をも下回り健全な数値に近づいております。なお、全国の市区町村平均は、10.5%となっております。22ページでございます。将来負担比率でございます。平成23年度の将来負担比率は、154.1%となっており、平成22年度算定分の162.1%と比較しますと8ポイント改善されております。これは普通会計に係る地方債の現在高が減少したことに加え、簡易水道事業及び下水道事業においても計画的に繰上償還が実施されていることによるものであります。将来負担比率は、早期健全化基準の350%を下回っておりますが、全国的に見てみますと市町村の平均は79.7%と比較した場合には高い数値に、まだなっております。是正改善を要する事項でございますが、これまで起債発行額の抑制、繰上償還による公債費の縮減を進めた、きた結果、実質公債費比率及び将来負担比率に、ともに改善傾向にあります。また将来の公債費負担に加えて減債基金を計画的に積み立てられております。しかし、地方交付税等に財源の多くを依存している本町におきましては、国の地方財政対策の動向によりましては比率が再び悪化することも考えられます。適切な財政計画の立案と計画に沿った財政運営に努めていただくよう要望いたします。23ページでございます。平成23年度簡易水道事業特別会計経営健全化審査意見書、審査の結果でございます。個別意見でございますが、資金不足比率につきましては、資金不足はございませんので特に指摘する事項はございませんが、29年度からは公営企業に移行され独立採算制となりますので、移行後にも資金不足が生じないよう基盤の構築を図られることを要望いたします。24ページでございます。平成23年度下水道事業特別会計経営健全化審査意見書。審査の結果でございます。個別意見でございますが、資金不足比率につきましては資金不足はございません。改善する事項も特にございません。25ページでございます。基金運用状況審査意見書、審査の対象は下記の六つの基金でございます。審査の内容は、内容、運用は下記の明細や裏面の表のとおりでございます。26ページの審査結果でございます。定額運用基金は、それぞれ目的をもって積み立てられた基金であり、町民の教育、文化、医療福祉の向上を図るための基金であります。土地開発基金の用地分につきましては当初、目的をもって先行取得された物件であります。計画変更により取得時のまま現在に至っております。新たな利用方法を検討されるよう要望いたします。また高額療養費貸付金の利用者がありませんでしたが、町民の中には制度を承知してない方もあります。安心して療養が受けられるよう、周知を図られるよう要望いたします。また文化、芸術振興基金につきましては、生涯学習の一環としてカルチャーバス利用等に運用されております。今後とも利用促進を望むところでございます。また奨学基金につきましては、平成2

3年度末で利用者は30名で微増をしております。しかし、近年経済不況の影響もあり、償還が遅れる者もありますので、早めに対応を図られるよう要望いたします。また医療福祉従事者確保奨学基金は、決算年度中に6名の貸与がありました。今後多くの利用が望まれます。また農林業後継者育成、育成基金も、決算年度中に1名の貸与がありました。今後とも、多くの利用が望まれるところでございます。28ページでございます。最後に決算審査のまとめでございます。平成23年度の邑南町の決算は、国の経済対策関連事業も本年度をもって終了となっております。平成23年度からは、過疎ソフト事業が本格化して、日本一の子育て村構想や食のA級グルメを売り出すなど、邑南町の独自の事業として広く存在感をアピールすることができたことは、町長を始めとし、関係者の皆さんの努力のたまものであると思っております。一方、財政面におきましては、地方交付税や臨時財政対策債などの減少が要因で、標準財政規模は縮減しております。また、こうした状況のもとで本格化してきた過疎ソフト事業等に係る一般財源からの引当が増加して、経常収支比率は悪化となっております。しかし、収支におきましては、積立金の積み増しや、地方債においては償還額が発行額を上回り残高が減少したことは、財政運営にゆとりができて、歳入総額の減少する中で評価をしております。今後も国の政策によっては、地方交付税など歳入額の減少が考えられる中で、町の事業のあり方や経費面において一層の削減、財産運用の見直しや多額化が進んでいる未収金、現在で、23年度末で7千775万円となっております。これの徴収など、適切な財政計画の立案と計画に沿った財政運営に努められるよう要望いたします。また本年度決算において、疑義のある処理がなされ、遺憾に思っております。改善計画を立てて、再びこのようなことが行われないことを望みまして審査意見とさせていただきます。

●副議長(石橋純二) ここで休憩に入らせていただきます。再開は、午後1時15分とさせていただきます。

—— 午後 0 時 1 8 分 休憩 ——

—— 午後 1 時 1 5 分 再開 ——

●副議長(石橋純二) 再開をいたします。続いて、議案の説明をお願いいたします。

●石橋町長(石橋良治) はい、議長、番外。

●副議長(石橋純二) はい、石橋町長。

●石橋町長(石橋良治) 議案第79号から議案第82号までの提案理由をご説明申しあげます。議案第79号邑南町防災会議条例の一部改正についてでございますが、これは災害対策基本法の改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。議案第80号邑南町災害対策本部条例の一部改正についてでございますが、これも災害対策基本法の改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。議案第81号邑南町下水道条例の一部改正についてでございますが、これは下水道法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものでございます。議案第82号邑南町情報通信施設条例の一部改正についてでございますが、これはチャンネルサービスの見直しなど、必要な改正を行うものでございます。以上、詳、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明させますのでよろしく申し上げます。

●細貝危機管理課長(細貝芳弘) 議長、番外。

●副議長(石橋純二) はい、細貝危機管理課長。

●細貝危機管理課長(細貝芳弘) 議案第79号の詳細についてご説明を申しあげます。先に、あのう、この議案と次の議案80号につきましては、6月27日施行の災害対策基本法の改正によるものでございます。それでは、あのう、議案書3枚目、新旧対照表をお開きくださいませ。まず、あのう、

右の表でございますが、現行規定中、第2条第1項第2号の町の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害に関する情報を収集することとありますが、これは改正法の市町村災害対策本部の条文中に、このことが規定されました。このため災害、防災会議の分掌としての根拠がなくなったことによりまして削るものでございます。また左の表をちょっとご覧くださいませ。第2号第3号でございます。これは、あのう、改正法の市町村防災会議の規定に、町長の諮問に応じて町の地域に係る防災に関する重要事項を審議すること。また前号に規定する重要事項に関し、町長に意見を述べるということというのが新たに加えられたため規定したものでございます。続いて左の表の第2条第1項第4号、5号、5号中の前4号につきましては、新たに、先に第3号を加えたため、1号ずつ繰り下げたことによりまして、続きまして次のページお聞きくださいませ。これは改正法に市町村防災会議の委員に自主防災組織を構成する者の規定が加えられたことによりまして、左の表でございますが、第3条第5項第8号に規定したものでございます。また同条第7項でございますが、第5項第7号の委員の任期を規定しておりましたが、これに第8号の委員を加えたため左の表でございます。下線部分に、及び第8号を規定したものでございます。改正本文に帰っていただきまして、附則としまして、第1項に施行日を公布の日からとしていっております。また第2項でございますが、経過措置としまして、第3条第5項第8号の規定により任命されました自主防災組織を構成する者の任期につきましては、第3条第7項の委員の任期2年としておりますが、現在の委員の残任期間と同等扱いとする旨規定したものでございます。続きまして、議案の第80号をご説明申し上げます。これも議案書3枚目、新旧対照表、対照表で説明をさせていただきますのでお聞きくださいませ。それでは議案書新旧対照表の右の表でございます。現行規定中、第23条第7項については、法では災害対策本部に関し、必要な事項は市町村の条例で定めるとあります。これが市町村災害対策本部の条項が新設されまして、改正法では第23条の2第8項に規定されたため左の表、下線のとおり改正するものでございます。改正条例本文に戻っていただきまして、附則に施行日を公布の日からとしております。以上、議案第79号、第80号につきまして、地方自治法第96条第1項の規定によりまして議決をお願いするものでございます。ご審議のほどをよろしく申し上げます。

●**上田水道課長(上田英至)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、上田水道課長。

●**上田水道課長(上田英至)** 議案第81号邑南町下水道条例の一部を改正する条例につきましてご説明いたします。改正点につきましては新旧対表で、対照表で説明いたします。お聞きください。別表中第43号を第44号とし、第27号から第42号までを、1号ずつ繰り下げ、第26号の次に、次の1号を加えるものでございます。27号1.4—ジオキサン1リットルにつき0.5ミリグラム以下。本改正は、下水道法施行令の一部を改正する政令が、平成24年5月23日に公布され、特定事業場から下水の排除の制限に係る水質の基準を定める令第4条、第9条の4第1項に追加されたため改正するものでございます。なお、本剤は主に医薬品合成原料として使用されておりますが、本町においては、使用する特定事業場はございません。以上でございます。よろしく申し上げます。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、小林情報推進課長。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 議案第82号、議案第82号邑南町情報通信施設条例の一部改正についてご説明申し上げます。このたびの改正の主なものとしたしましては、現行の多チャンネルの料金プラン3プランを1プランに統合しようとするものでございます。平成23年3月定例会にお

きまして、多チャンネルプランを3段階の料金プランに分ける改正を行い、1年半経過いたしました。その結果、お試しプランとデラックスプランの契約者が極端に少なく、ほとんどがスタンダードプランの契約者でございました。このため3段階の料金プランを1プランに統合する改正をお願いするものでございます。また、数項目の用語説明についての改正もあわせてお願いするものでございます。それでは新旧対照表をご覧ください。用語説明の改正からでございます。一枚捲っていただきまして、9引込線の説明でございます。現行の分岐分配器から光電変換装置まで及び光電変換装置からターミナルアダプタまでの伝送路をいう。の下線部分を削除し、改正後は分岐分配器から光電変換装置までの伝送路をいう。に改正いたします。次に、10引込工事でございますが、現行の引込線と光電変換装置及びターミナルアダプタの設置工事をいう。括弧、光電変換装置の電源工事を含む。括弧の下線部分を削除し、引込線と光電変換装置の設置工事をいう。に改正いたします。次に11宅内線でございますが、現行の括弧の方、引込工事で行うターミナルアダプタへの伝送路は除く。を削除し、改正後はターミナルアダプタ及び電源供給器への伝送路を含む。に改正いたします。次に第17条の利用の休止、廃止及び再開始ですが、一枚捲っていただきます。改正後の6項を新設するものでございます。これは賃貸住宅の入居者に対する手数料納付の条文でございます。次に一枚捲っていただき、別表第2、15条関係の多チャンネルの利用料プランについての改正となります。現行中段の テレビ多チャンネルのセットトップボックス1台目、お試しプラン300円、スタンダードプラン800円、デラックスプラン千200円を、改正後はセットトップボックス1台目800円に改正いたします。次のセットトップボックス2台目以降1台につき、お試しプラン200円、スタンダードプラン300円、デラックスプラン400円を、改正後はセットトップボックス2台目以降1台につき300円に改正するものでございます。次のページの上から2段目でございます。現行のテレビ有料放送チャンネル、括弧テレビ基本チャンネルの追加サービスを、改正後は、括弧テレビ多チャンネルの追加サービスに改正するものでございます。以上、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。よろしくお願いいたします。

●石橋町長(石橋良治) はい、議長、番外。

●副議長(石橋純二) はい、石橋町長。

●石橋町長(石橋良治) 議案第83号、議案第84号の提案理由をご説明申しあげます。まず、議案第83号 邑南町健康センター基金条例の制定についてでございますが、これは邑南町健康センターの整備、修繕等の財源として基金を設置しようとするものでございます。次に、議案第84号 邑南町日本一の子育て村推進本部設置条例の制定についてでございますが、これは子育て支援施策を総合的かつ積極的に推進するための体制整備をしようとするものでございます。以上、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

●森岡生涯学習課長(森岡弘典) 番外。

●副議長(石橋純二) はい、森岡生涯学習課長。

●森岡生涯学習課長(森岡弘典) 議案第83号 邑南町健康センター基金条例の制定についてご説明を申しあげます。本基金条例は健康センターの施設整備及び修繕等の財源に充て、充てるための基金を設置する、設置するために制定するものでございます。条例案の方をご覧くださいませ。邑南町健康センター基金条例第1条 邑南町健康センターの施設整備及び修繕等の財源に充てるため、邑南町健康センター基金、括弧以下カギ括弧、基金という。括弧を設置する。第2条基金として積み立てる額は、当年度予算に定めた額とする。第3条基金に属する現金は金融機関への預金その他最も

確実かつ有利な方法により保管しなければならない。第4条基金の運用から生じる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に繰り入れるものとする。第5条町長は、第1項の目的のためにの資金として、基金を取り崩し予算に計上し、これを使用することができる。第6条この条例に定める、定めるもののほか、基金の管理及び処分に必要な事項は、町長が別に定める。附則この条例は平成24年10月1日から施行する。以上、邑南町健康センター基金条例を制定しているので地方自治法96条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。よろしくお願いいたします。

●**原定住促進課長(原修)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、原定住促進課長。

●**原定住促進課長(原修)** 議案第84号邑南町日本一の子育て村推進本部設置条例の制定についてご説明申しあげます。条例案をご覧ください。本条例は、日本一の子育て村構想推進のために、推進本部を設置することについて定めるものでございます。第1条には、趣旨として子育て支援を総合的かつ積極的に推進することを目的とし、本部の設置及び組織等を定めるものとしております。第2条では、本部の所掌事務を定めており、第3条では、本部を構成する組織を規定しております。第4条では、その組織のうち、本部会議について、その構成や本部長及び副本部長の職、本部員の構成及び本部会議の招集等について定めております。第5条では、幹事会の担当事務及び組織構成を規定しており、第6条では、部会の担当事務及び部会長について規定しております。第7条では、事務局の設置について、第8条では委任規定について定めており、附則において、この条例は交付の日から施行することとしております。適切な議決を賜りますようよろしくお願いいたします。

●**石橋町長(石橋良治)** はい、議長、番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** 議案第85号の提案理由をご説明申しあげます。財産の取得についてでございますが、これはおおなんバス1台を更新しようとするものでございます。詳細につきましては、定住促進課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

●**原定住促進課長(原修)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、原定住促進課長。

●**原定住促進課長(原修)** 議案第85号財産の取得についてご説明申しあげます。本議案は平成24年度社会資本整備総合交付金等により、おおなんバス大朝線の車両を取得したいので、地方自治法第96条第1項及び邑南町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものでございます。取得物件は27人乗り、運賃表示器付きマイクロバス1台でございます。取得の目的は邑南町内の地域住民及びその他に邑南町に日常の用務を有する者の交通手段を確保し、公共の福祉に資するためのものでございます。指名競争入札により取得金額は1千2万6千450円でございます。取得の相手先は島根県邑智郡邑南町矢上82番地3、共栄自動車有限会社代表取締役日野原克行氏でございます。8月22日に指名競争入札を行い、落札決定をいたしましたので、翌日付で仮契約を締結しております。ご審議のうえ適切な議決を賜りますようお願い申しあげます。

●**石橋町長(石橋良治)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** 石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** 議案第86号の提案理由をご説明申しあげます。邑南町辺地に係る公共施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定についてでございますが、これは今年度から事業実

施の辺地につきまして5年間の総合整備計画を策定しようとするものでございます。詳細につきましては、企画財政課長から説明させますのでよろしく申し上げます。

●**沖企画財政課長(沖幹雄)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、沖企画財政課長。

●**沖企画財政課長(沖幹雄)** 議案第86、86号邑南町辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定についてご説明申しあげます。別紙、総合整備計画をご覧ください。辺地の総合整備計画につきましては、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づきまして、辺地債を活用しまして事業を実施する場合において、辺地の地区ごとに当該年度から5年間の期間として定めることになっております。本整備計画は、今年度から事業実施の町道日南川松木線の改良及び町道簾金毘羅線の改良について平佐辺地及び吉原丸子辺地の5年間の総合整備計画を策定するものでございます。まず、別紙の1枚目でございますが、平佐辺地の関係でございます。1番目の事項、辺地の概況についてですが、辺地度点数が129点で、法規定の点数を満たしておるところでございます。2番目の事項、公共的施設の整備を必要とする事情でございますが、町道日南川松木線は日南川集落と松木集落を結ぶ生活道であり、道路改良により交通安全と利便性の向上を図ろうとするものでございます。3番目の事項、公共的施設の整備計画でございますが、町道日南川松木線道路改良でございます。期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間、改良延長200メートル、幅員は5メートルの事業でございます。総事業費1億500万円、財源としましては5千万円を交付金、残りの一般財源のうち5千490万円を辺地債で借り入れる予定としております。次に、別紙の2枚目をご覧ください。吉原丸子辺地の関係でございます。1番目の事項、辺地の概況についてですが、辺地度点数が104点で、法規定の点数を満たしておるところでございます。2番目の事項、公共的施設の整備を必要とする事情でございますが、町道簾金毘羅線は幅員が狭くカーブも多く勾配もきついため、道路改良により交通安全と利便性の向上を図ろうとするものでございます。3番目の事項、公共的施設の整備計画でございますが、町道簾金毘羅線道路改良でございます。期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間、改良延長千メートル、幅員は5メートルの事業でございます。総事業費3億1千500万円、総事業費3億1千500万円、財源としては1億9千500万円を交付金、残りの一般財源のうち1億1千950万円を辺地債で借り入れる予定としております。以上が概要でございますが、このたびの辺地計画の策定につきましては、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第4項の規定により島根県と協議済みでございます。同条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。よろしく願いいたします。

●**石橋町長(石橋良治)** はい、議長、番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** 議案第87号から第93号までの提案理由をご説明申しあげます。議案第87号平成24年度邑南町一般会計補正予算第3号は、歳入歳出それぞれ2億6千583万2千円を増額するものでございます。議案第88号平成24年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ4万円を増額するものでございます。議案第89号平成24年度国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号は、歳入の組替えでございます。議案第90号平成24年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号は、これも歳入の組替えでございます。議案第91号平成24年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ580万円を増額するものでございます。議案第92号平成24年度邑南町下水道事業特別会計補

正予算第2号は、歳入歳出それぞれ40万円を増額するものでございます。議案第93号平成24年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ569万2千円を増額するものでございます。詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

●**沖企画財政課長(沖幹雄)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** 沖企画財政課長。

●**沖企画財政課長(沖幹雄)** 議案第87号平成24年度邑南町一般会計補正予算第3号についてご説明申しあげます。予算書の1ページをお開きください。第1条の歳入歳出予算の補正額でございますが、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億6千583万2千円を増額いたしまして、119億4千648万6千円とするものでございます。詳細につきましては、後ほど事項別明細書の方で説明を申しあげます。第2条では地方債の補正がございます。詳細につきましては、捲っていただきまして6ページをお開きください。6ページは第2表地方債の補正でございます。まず、臨時財政対策債の補正でございます。補正前の額3億600万円に9千280万円増額して3億9千880万円としております。続きまして、中ほどですが、新規のものでございます。急傾斜地崩壊防止対策事業債が200万円、現年発生農地補助災害復旧事業債が390万円、現年発生農業用施設補助災害復旧事業債が150万円、現年発生林道補助災害復旧事業債が700万円、現年発生公共土木施設補助災害復旧事業債が900万円としております。以上により合計しまして。たいへん失礼しました。現年発生公共土木施設補助災害復旧事業債が90万円としております。以上により合計しまして13億5千760万円の地方債が、14億6千570万円になるものでございます。続きまして、事項別明細の方へいっていただきまして、4ページをお開きいただきたいと思っております。歳入でございます。主なもののみ説明させていただきます。10款地方交付税でございます。7月24日の交付決定により普通地方交付税を2千777万2千円減額としております。以下12款以降は、ずっと災害復旧の関係や事業費の増減による補正を計上しております。8ページをお開きください。15款県支出、支出金でございます。一番上の総務管理費補助金でございますが、生活排水関係の三つの交付金が一本化されて生活排水処理促進交付金とされております。この関係で組み替えを行っております。また、新たな補助金として越境通勤助成事業の補助金45万円を計上しております。補助率は2分の1でございます。続きまして保健衛生費補助金でございますが、プログラミング言語ルビーを用いたシステム開発に係る費用として、県から241万5千円をいただくこととしております。補助率は2分の1でございます。それから教育費の方へ行っていただきまして、社会教育費補助金でございますが、県の補助制度の改編による組み替えを行っております。説明欄の上の方の補助金名が下から、下の三つの名前というふうに変更となっております。差し引きまして増額となりました部分は小中学生への地域医療や郷土教育に係る部分でございます。16款財産収入でございます。土地建物貸付収入を208万円減額しておりますが、これは広島市安佐南区の土地を売り払ったことによる貸付収入の減でございます。次に10ページをお開きください。一番上の土地建物売払収入でございますが、安佐南区土地売払収入6千316万5千円を計上しております。17款寄付金でございます。一般寄付金として4万円、ふるさと寄付金として10万円をいただきましたので、それぞれ増額をしております。続いて18款繰入金でございます。財政調整基金繰入金を4千996万3千円減額しております。これは1号補正で財源として4千996万3千円を取り崩すこととしておりましたが、それを取り止めるということでございます。次に12ページ、12ページをお開きください。19款は繰越金でございます。前年度繰越金ですが、決算によりまし

て1億3千189万9千円増額しております。続いて20款諸収入でございます。普通建設事業受託事業収入、これは森林総合研究所と公社造林受託事業収入それぞれ増額をしております。一番下の21款町債でございますが、先ほど地方債補正で説明しましたとおりでございます。続いて16ページをお開きください。歳出でございます。主なもののみご説明いたします。2款総務費の一般管理費でございますが、25節積立金に3千383万4千円を計上しております。この内訳は減債基金への積み立てが3千373万4千円、ふるさと基金への積み立てが10万円でございます。次に財産管理費の方に行きまして旧矢上高校瑞穂分校解体事業費に500万円を計上しております。その下マイクロバス購入費に892万2千円を計上しております。続いて企画費の方へ行きまして一番下でございますが、新たに石見養護学校教育振興会補助事業費20万円を計上しております。これは矢上高校教育振興会と同様、支援をしようとするものでございます。次に18ページをお開きください。一番上の地域振興及び人口定住対策費のところでございますが、越境通勤助成実証実験事業費として90万円を計上しております。これはUIターン者への広島市内への通勤、通学の助成について実証実験をしようとするものでございます。それから下に行きまして賦課徴収費でございます。ゴルフ場に係る平成21年度評価額訴訟結審にともなう固定資産税の還付金、裁判費用等を計上しております。システム更新費については、あのう、訴訟のことは関係ございません。25ページをお開きください。4款衛生費でございます。保健衛生総務費のところでございますが、繰出金として簡易水道事業特別会計繰出金、下水道事業特別会計繰出金、直営診療所事業特別会計繰出金、それぞれ減額しておりますが、これはそれぞれ特別会計の前年度決算により繰越金が生じたので、その分一般会計からの繰り出しを減じようとするものでございます。次に26ページをお開きください。6款農林水産業費でございます。農地費のところの繰出金で下水道事業特別会計繰出金、農業集落排水分でございますが、これも前年度決算に基づき繰り出しを減額するものでございます。一番下に施設整備管理費がございます。堆肥化処理施設茅場処理場屋根改修事業費千850万円を計上しております。これは昨年度調査委託しました結果に基づきまして屋根の改修工事をしようとするものでございます。次に28ページをお開きください。一番上の林業振興費のところでございますが、森林総合研究所造林受託事業、公社造林受、受託事業につきまして、合わせて千146万4千円総額するものでございます。8款の土木費に行っていただきまして下水道費の繰出金でございますが、これも前年度決算による減額でございます。それから下の方へ行っていただきまして道路維持費の増額を計上しております。30ページをお開きください。一番上の工事請負費の説明欄のところでございますが、新たな細目として町道福原北線、町道三葉横引線、町道田代有安線についてそれぞれ計上しておりますが、これらは道路維持費の範疇ではございますが、今後起債対応の可能性があるため、それぞれ別細目として計上しております。次の道路改、道路新設改良費でございます。町内ネットワーク道路整備事業、戸河内線の防災対策事業の関係でございますが、1千397万円減額しております。これは地滑りの可能性があることが判明し、しましたため、工事費を減額し、して委託料に組み替え、全面的な調査をしようとするものでございます。次に32ページをお開きください。一番上の住宅管理費のところの公営住宅解体事業費、断魚住宅でございますが、入居者の方が居られなくなりましたので計画により解体しようとするものでございます。次の住宅建設費のところ森実住宅と市木若者定住住宅それぞれ事業費を増額しております。9款の消防費でございますが、消防設備費のところ防火水槽有蓋化事業費450万円を計上しております。これは町内防火水槽への蓋がけについて、これまで何回かに分けて事業実施してまいりましたが、今回で終了することになります。次、防災費でございますが、一番下のところに防災安

心の手引きパンフレット作成費310万円を計上しております。これは住民用の防災の教科書といえるものでございます。続きまして36ページをお開きください。10款教育費の社会教育総務費のところでございますが、先ほど歳入のところでも申しました補助金の組み替えによりまして歳出の方も組み替えをしております。社会教育施設費でございますが、邑南町健康センター基金管理費として6千316万6千円を計上しております。このたび新たに基金を設けて、将来、健康センター元気館の施設整備や修繕に充当しようとするものでございます。続いて、11款災害復旧費でございます。7月初めの大雨により各地で災害が発生しております。まず農地災害復旧事業でございますが羽須美地域が1か所、瑞穂地域が8か所、石見地域が1か所でございます。次の農業用施設災害復旧事業でございますが羽須美地域が1か所、瑞穂地域が2か所、石見地域が2か所でございます。次に38ページをお開きください。林道災害復旧事業でございますが、羽須美地域が2か所、瑞穂地域が5か所でございます。公共土木災害復旧事業費でございますが羽須美地域が1か所、瑞穂地域が1か所でございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

●服部町民課長(服部導士) 議長、番外。

●副議長(石橋純二) はい、服部町民課長。

●服部町民課長(服部導士) 議案第88号平成24年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号についてご説明申しあげます。予算書の1ページをお開きください。歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ15億3千623万2千円とするものでございます。詳細につきましては、予算に関する説明書の事項別明細書の4ページ5ページをお開きください。このたびの補正は、平成23年度の決算に伴います繰越、繰越金と国庫支出金の返還金が生じております、おりますので、必要となります修正により、補正を行っております。まず、歳入でございますが、9款の基金繰入金につきまして、前年度繰越金から歳出でご説明いたします返還金を差し引いた額26万1千円を減額しております。次に、10款の繰越金につきましては、平成23年度決算に伴うものでございまして、30万1千円の増額でございます。次に、6ページ7ページをお開きいただき、歳出でございます。9款の諸支出金の償還金でございますが、平成23年度の出産育児一時金の国庫補助金につきまして、返還金が生じておりますので、その額4万円を増額しております。以上が、国民健康保険事業特別会計補正予算第2号の説明でございます。続きまして、議案第89号平成24年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号についてご説明申しあげます。予算書の1ページをお開きください。第1条歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による、によるとしてございまして、歳入歳出予算の総額につきましては修正しないものでございます。詳細につきましては、予算に関する説明書の事項別明細書の2ページ、3ページをお開きください。このたびの補正は、平成23年度の決算に伴います繰越金が生じておりますので、一般会計繰入金の修正を行っております。まず、3款の一般会計繰入金につきましては、次の繰越金を受け184万4千円を減額しております。次に、4款の繰越金につきましては、平成23年度決算に伴うものでございまして、同額の184万4千円を増額しております。以上が、国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号の説明でございます。続きまして、議案第90号平成24年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号について、ご説明申しあげます。予算書の1ページをお開きください。第1条歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は、第1表歳入、歳入歳出予算補正によるとしてございまして、歳入歳出予算の総額につきましては修正しないものでございます。詳細につきましては、予算に関する説

明書の事項別明細書の2ページ、3ページをお開きください。このたびの補正は、平成23年度の決算に伴います繰越金が生じておりますので、一般会計繰入金の修正を行っております。まず、4款の一般会計繰入金につきましては、次の繰越金を受け313万5千円を減額しております。次に、5款の繰越金につきましては、平成23年度決算に伴うものでございまして、同額の313万5千円を増額しております。以上が、後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号の説明でございます。以上、議案8、第88号、89号、90号につきましては、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。よろしくお願いをいたします。

●**上田水道課長(上田英至)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** 上田水道課長。

●**上田水道課長(上田英至)** 議案第91号平成24年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号につきましてご説明いたします。1ページをお開きください。第1条歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ580万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億469万9千円とするものでございます。歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は第1表歳入歳出予算補正によるものでございます。詳細については事項別明細書の方で説明いたします。第2条地方債の補正は第2表地方債補正によるものでございます。4ページをお開きください。簡易水道事業債を補正前の限度額1億4千370万円を260万円増額し、補正後の限度額を1億4千630万円とするものでございます。これにより地方債合計額の補正後の限度額を同額の1億4千630万円とするものでございます。続きまして、主な補正につきましてご説明いたしますので事項別明細書の4ページをお開きください。歳入でございますが、他会計繰入金が596万2千円の減額でございます。また前年度繰越金が、570万円、570万8千円の増額でございます。雑入は345万4千円の増額で県事業補償費と災害罹災給付金によるものでございます。町債は260万円の増額でございます。6ページをご覧ください。歳出の一般管理費でございますが、県事業の支障移転工事により工事請負費が243、4万円の増額。施設整備事業費の配水管敷設工事により工事請負費が222万円の増額でございます。続きまして、議案第92号平成24年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号についてご説明いたします。1ページをご覧くださいませ。第1条歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ40万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億1千89万6千円とするものでございます。歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は第1表歳入歳出予算、歳入歳出予算補正によるものでございます。主な補正につきましてご説明いたしますので、事項別明細書の4ページをお開きください。歳入でございますが、他会計繰入金が1千32万5千円の減額でございます。また前年度繰越金が、1千72万5千円の増額でございます。6ページをご覧くださいませ。歳出の生活排水処理事業一般管理費の需用費が、40万円の増額です。下水道事業一般管理費は組み替えでございます。以上でございます。よろしくお願いたします。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 番外。

●**副議長(石橋純二)** はい、小林情報推進課長。

●**小林情報推進課長(小林雅博)** 議案第93号平成24年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号についてご説明いたします。予算書の1ページをお開きください。歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ569万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億1千881万8千円にするものでございます。詳細については予算に関する説明書でご説明いたします。事項別明細書の4ページをご覧ください。歳入でございます。2款使用料及び手数料114千円の増額でございます。こ

れは多チャンネル30件分の利用料とSTB20台分のリース料でございます。5款財産収入の財産売払収入181千円の増額でございます。これはSTB10台分の売払収入でございます。7款繰越金前年度繰越金の確定により539万7千円の増額でございます。6ページをご覧ください。歳出でございます。1款総務費、一般管理費259万3千円の増額でございます。これは施設維持費としてTA100台の購入、サービス業務費としてSTB30台分の購入及びBS放送の送信設定費でございます。3款基金積立金、電気通信事業基金積立金309万9千円の増額でございます。以上、補正額合計569万2千円の増額でございます。よろしくお願いたします。

●副議長(石橋純二) 以上で執行部の説明は終了いたしました。

~~~~~○~~~~~

日程第7 請願文書表

●副議長(石橋純二) 日程第7、請願文書表を議題といたします。本定例会までに受理いたしております請願は、お手元に配布いたしております請願文書表のとおりでございます。ここでお諮りをいたします。請願第2号並びに請願第3号につきましては、総務常任委員会に付託をいたしたいと思っております。これにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

●副議長(石橋純二) 異議なしと認めます。したがって、請願第2号並びに請願第3号につきましては、総務常任委員会に付託することに決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

散会宣告

●副議長(石橋純二) 以上で、本日の日程はすべて議了いたしました。本日はこれにて散会といたします。大変ご苦労さんでございました。

—— 午後 2 時 6 分 散会 ——